

地域の未来に向けての病院づくり、Yes, we can !



山鹿市民医療センター 病院事業管理者

別府 透

山鹿市民医療センターの概要

病院開設者：早田 順一 山鹿市市長

病院事業管理者：別府 透

院長：石河 隆敏

■病床数

一般病床197床・感染症病床4床

(7対1入院基本料、地域包括ケア38床、緩和ケア病棟13床)

■標榜診療科(20診療科)

内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、代謝内科、小児科、外科、乳腺外科、消化器外科、**泌尿器科**、**整形外科**、**眼科**、耳鼻咽喉科、産婦人科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、腫瘍外科、腫瘍内科、緩和ケア内科

■職員数(令和7年4月1日の見込み)

医師50名(25名)、看護職185名(159名)、メディカルスタッフ49名、

事務系等77名 **計362名** ()内は常勤数



山鹿 来民渋うちわ

地域住民の生命と健康への貢献

山鹿市民医療センター

鹿本医療圏唯一の公的病院としての役割

- 熊本県がん診療連携拠点病院
- 第二種感染症指定医療機関
- 災害拠点病院
- 救急告示病院
- 地域医療支援病院
- 臨床研修指定病院（協力型）
- 熊本DMAT指定病院
- 熊本県肝疾患専門医療機関
- 熊本県肝炎治療指定医療機関



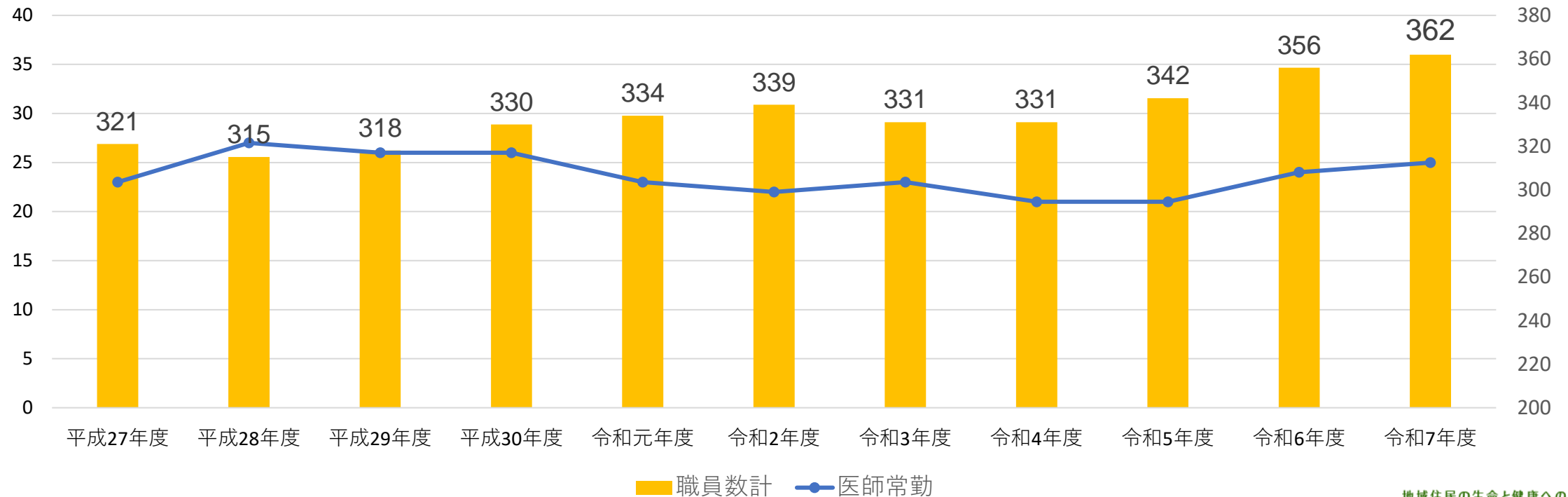
平成22年新病棟改築モデル

いのち
地域住民の生命と健康への貢献



職員数の推移

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
医師常勤	23	27	26	26	23	22	23	21	21	24	25
看護師数	194	186	182	187	194	191	186	185	177	187	186
職員数計	321	315	318	330	334	339	331	331	342	356	362

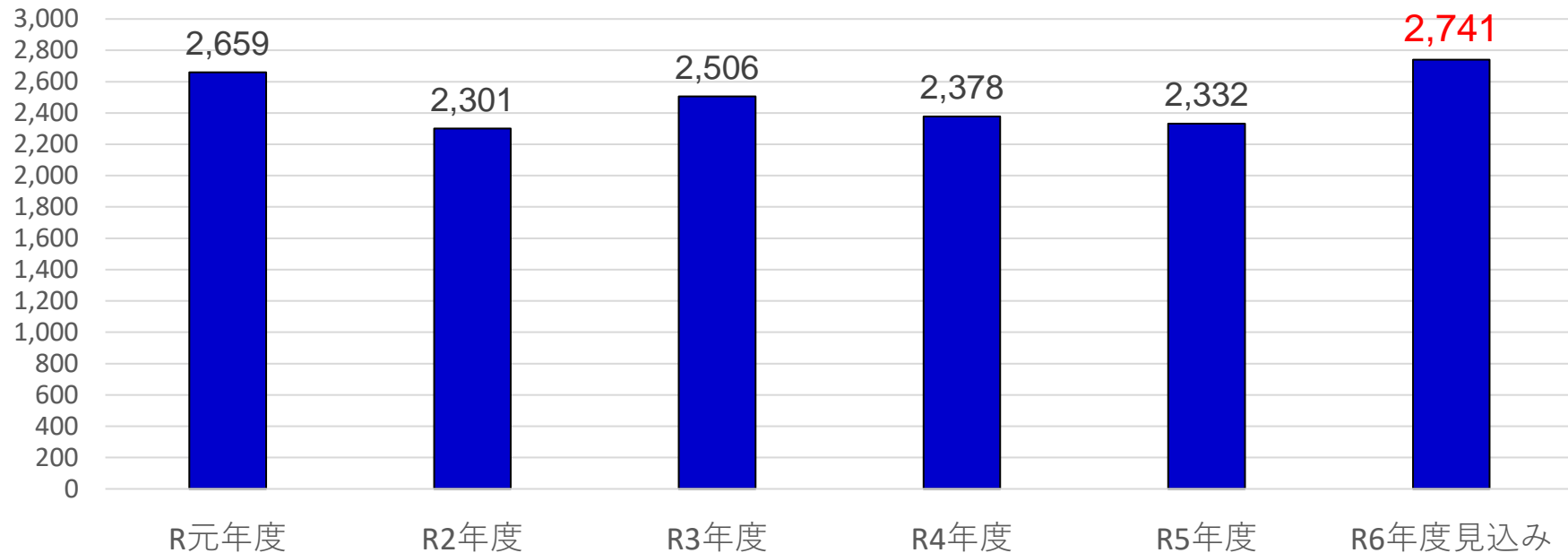




診療実績

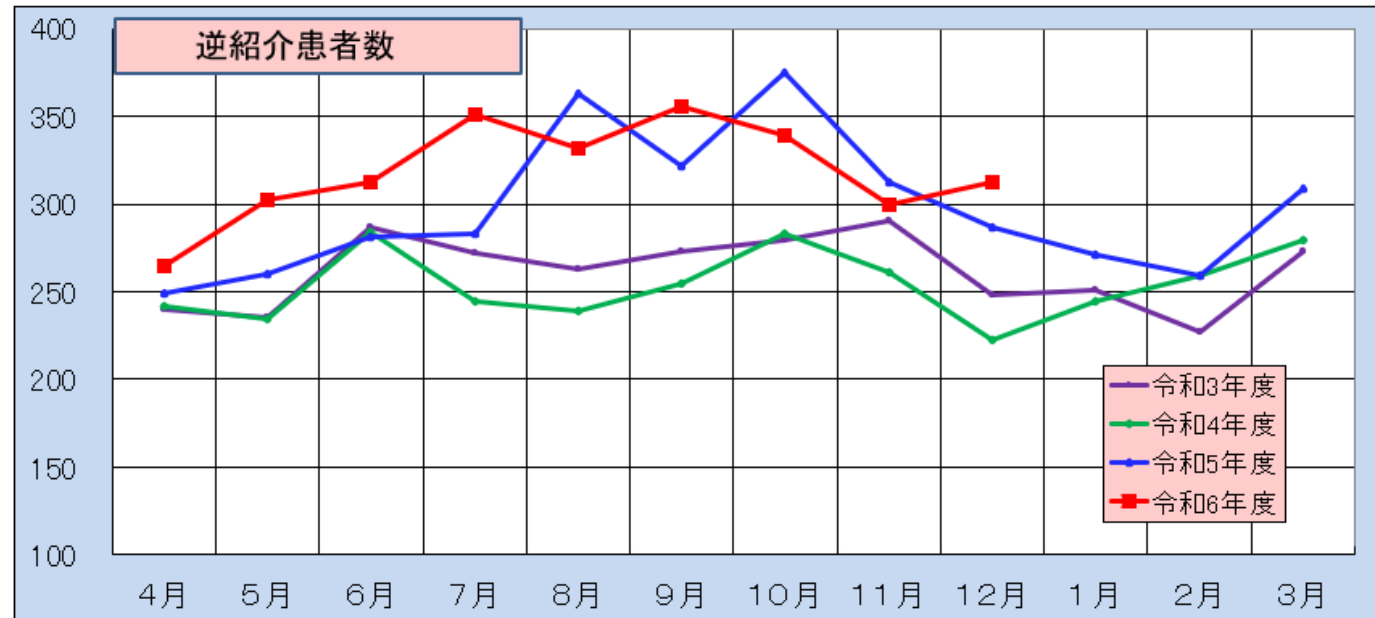
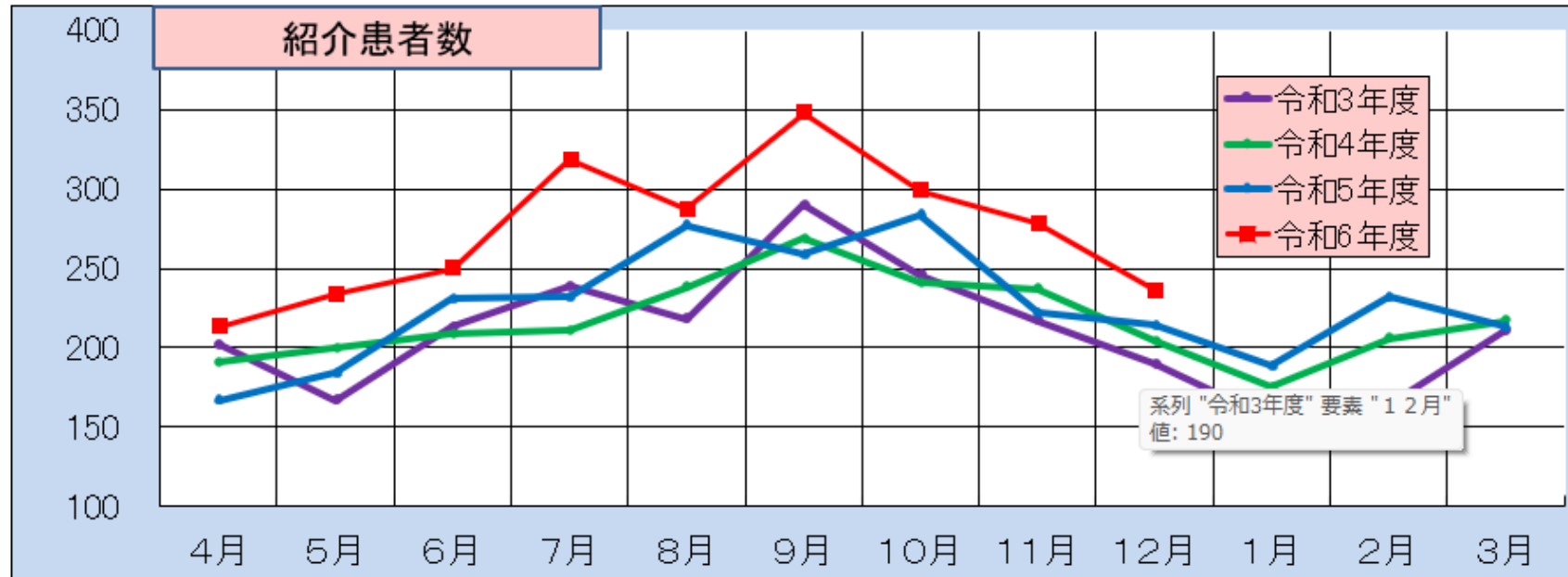
	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度見込み
外来患者数	52,052	45,880	49,403	50,012	46,894	44,139
初診外来患者数	4,091	3,505	4,699	5,631	5,372	5,341
入院延患者数	50,426	43,565	44,264	41,714	40,105	46,248
新規入院患者数	2,659	2,301	2,506	2,378	2,332	2,741

新規入院患者数 推移





医療連携に係る実績報告



基準値: 紹介率 50%
逆紹介率 70%

R6年度
平均紹介率 71.2%
平均逆紹介率 82.9%

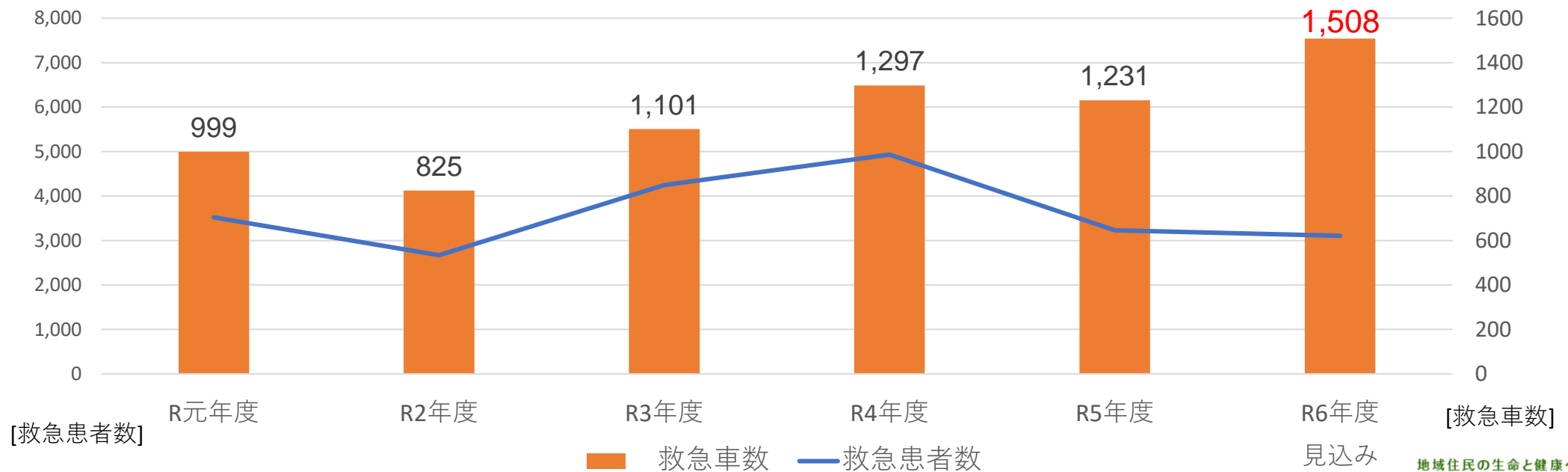


救急診療実績

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度見込み
救急患者数	3,520	2,669	4,246	4,931	3,229	3,104
救急車数	999	825	1,101	1,297	1,231	1,508

救急患者数・救急車受入数 推移

令和6年度 救急車受入数
1,508台 見込み





新型コロナ診療の実績

2020年8月1日 院内で新型コロナクラスター発生
国立感染症研究所の島田智恵先生に訪問指導



医務技監
福島 靖正氏



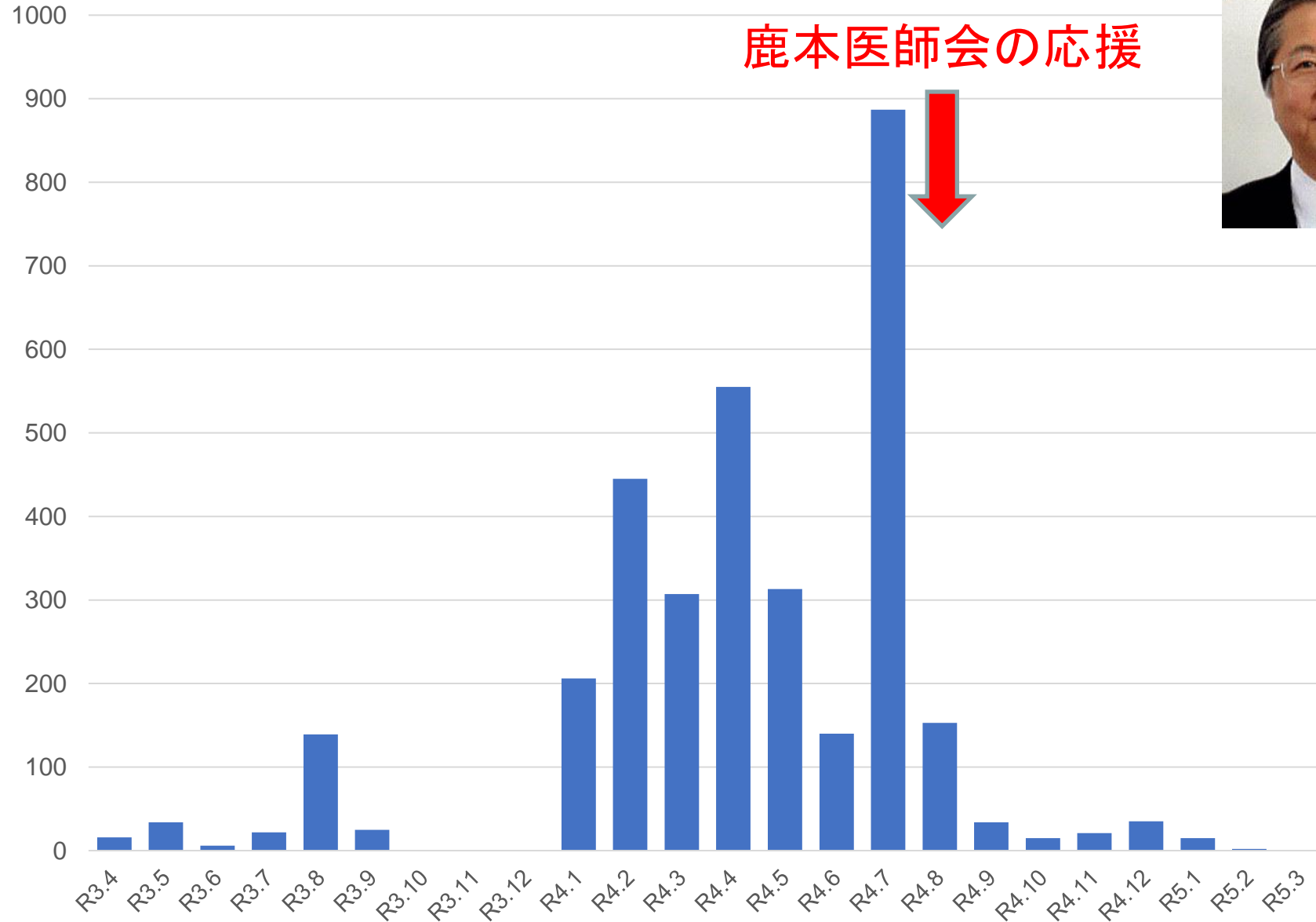
地域住民の生命と健康への貢献

山鹿市民医療センター



新型コロナ診療の実績

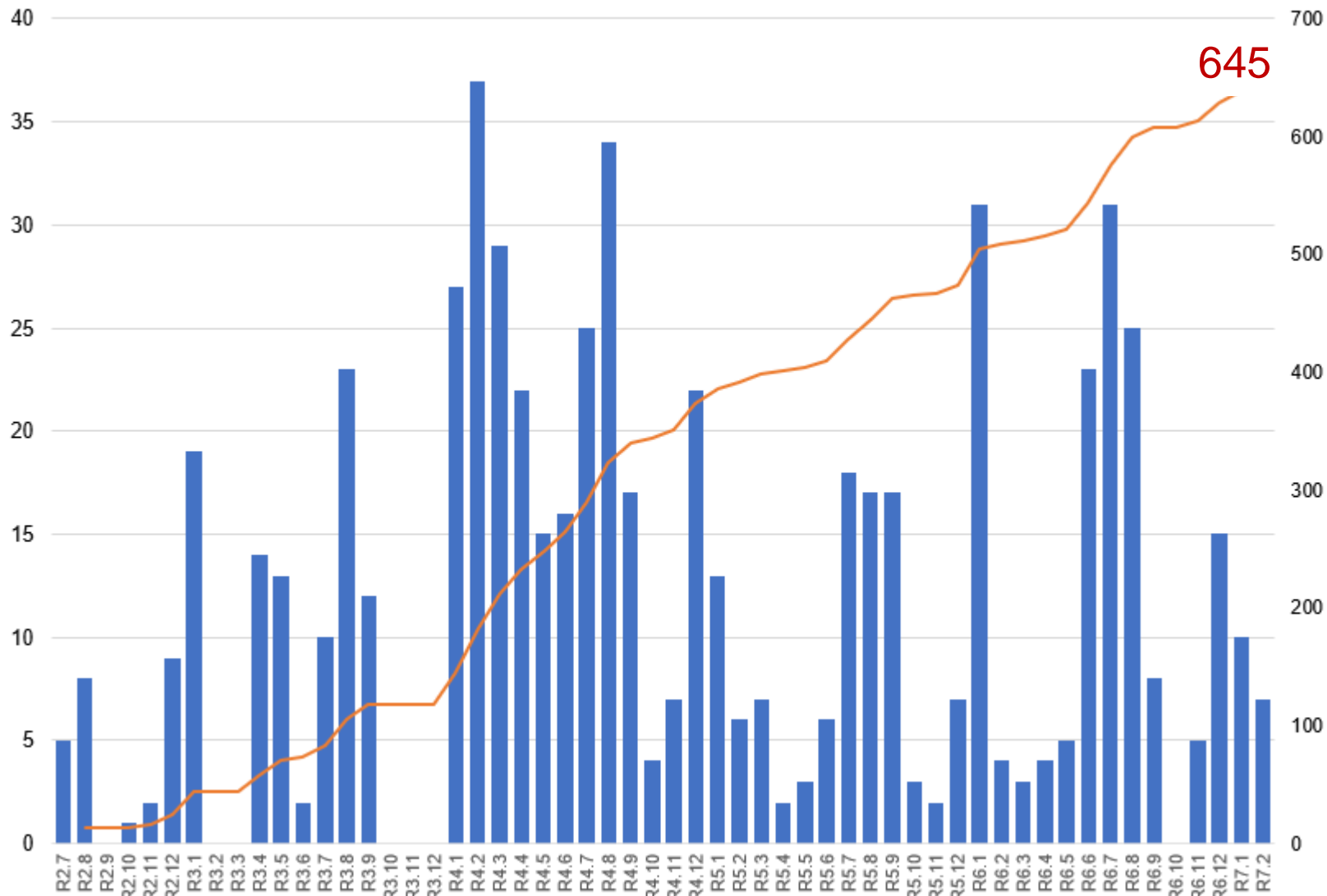
新型コロナ外来トリアージ患者数の推移





新型コロナ診療の実績

新型コロナ入院患者数の推移（R2年7月～R7年2月）



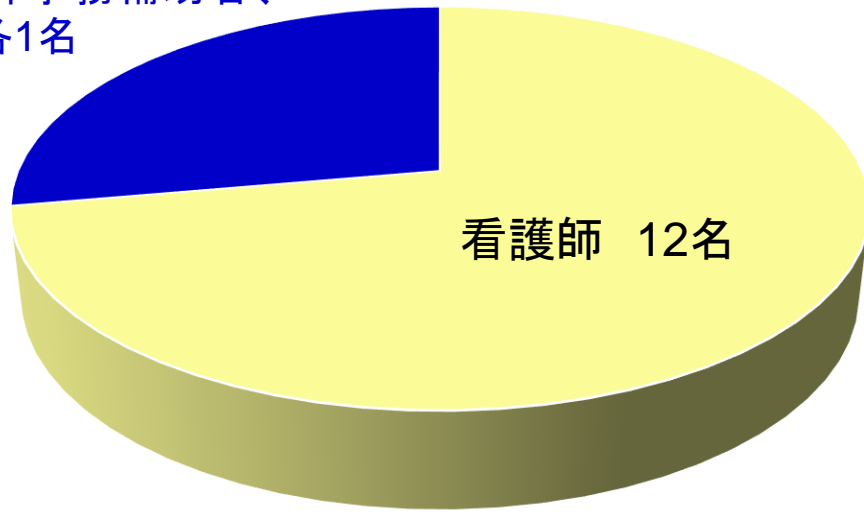


本学術集会での山鹿市民医療センターからの発表

パネルディスカッション(2演題)

「わがところ自慢」がワーク・エンゲイジメントを高める
 ～看護管理者がいきいきとマネジメントに取り組む仕掛けづくり～
 医療従事者の働き方改革について
 ～看護業務のタスクシフト・シェア～

薬剤師、放射線技師、
 理学療法士、臨床工学
 技士、医師事務補助者、
 事務員、各1名



一般演題(16演題)

消毒液含浸綿棒の導入による効果
リソースナース会の活動と今後の課題についての報告
当センターの医科歯科連携
実践者ラダー研修にe-ラーニングを導入した効果と教育委員としての課題 ～看護師アンケート調査を実施して～
A病院における看護研究委員部会の活動報告 - 看護研究倫理審査会設置後の現状と課題 -
在宅看取り希望の退院支援 ～心破裂患者の意志決定支援～
緩和ケアチーム活性化にむけた取り組み ～緩和ケアチームリンクナースの育成～
診療報酬改定における事務職員が担うべき役割 ～多職種連携に向けて施設基準の担当者ができること～
当院の造影剤ルート確保の取り組み
当院における特定行為実践の確立
山鹿市民医療センターにおける臨床工学技士の業務拡大とこれからの展望
心大血管疾患リハ施設基準取得への取り組み
危険予知トレーニング（KYT）導入の有用性
手指衛生遵守率向上への取り組み —直接観察法Obtrusive Direct Observationの効果—
外来診療における医師事務作業補助者陪席導入の効果



本日の話題

- 本センターの強みを生かす
- 病院を含む地域全体の活性化
- 将来への課題



がん診療と人材育成に力を入れた 地域完結型病院へ

がん診療と 人材育成に力を入れた 地域完結型病院へ

3年前に副院長として山鹿市民医療センターに赴任。今年4月に新院長となり、さらなる手腕が期待される。副院長時代から目指してきた、がん診療と人材教育に重点を置いた「地域完結型病院」の取り組みとは。

山鹿市民医療センター
ベッポ とおる
別府 透 院長

1983年熊本大学医学部卒業、1991年同大学大学院医学研究科卒業。同大学消化器外科学准教授、同医学部附属病院（現：熊本大学病院）消化器癌集学的治療学特任教授、山鹿市民医療センター副院長などを経て、2019年から現職。

山鹿市民医療センター
熊本県山鹿市山鹿511 ☎0968-44-2185（代表）
<http://yamaga-medical-center.jp/>

病院長の
横顔

がん総合的診療チームの立ち上げ

2019年



2024年



がんの手術療法（腹腔鏡治療を含む）、がんの内視鏡的治療、がんの血管造影下治療、
がんの薬物療法、がん患者の緩和医療、がん患者のこころのケア、がんの画像診断、
がんの病理診断、がん患者の栄養療法、がんリハビリテーション、がんの健診、がん手術における患者ケア、
がんの院内登録、がん相談支援センター、がん訪問看護、がんボード、
がん患者のセカンドオピニオン外来、がん関連の市民公開講座



がん総合的診療チームの活動

Cancer board 月1回

2023/10/11	がん相談支援センターの活動について～その人らしい生活や治療選択を目指して～	福島大志
2023/11/8	がん患者のリハビリテーションに関する診療ガイドラインとリハビリテーション科の取り組み Cancer boardの指定要件について	西嶽翔太 石河隆敏
2023/12/13	B型肝炎について	臨床検査科
2024/1/10	”ぎりぎりまで家で過ごしたい”を支える 医事審査症例について	訪問看護室 石河隆敏
2024/2/14	外来化学療法における食事介入の一例 S状結腸癌 多発肝転移リンパ節転移 他	栄養科
2024/3/13	がん治療関連心機能障害の造影CT遅延相の有用性について がん診療に係わる診療報酬改定2024	放射線科 診療報酬対策委員 (石河院長)

【2024(令和6)年度】

2024/4/10	胃がん症例から学んだこと	薬剤科
2024/5/8	膵癌術後の肝転移に対し3回の肝切除を行い、8年以上の長期生存を得ている一例	増田稔郎

CPC(臨床病理カンファレンス) 月1回

熊本大学, 生命科学研究部
細胞病理学
菰原 義弘 教授



2025年2月18日 木曜日
17:00～

- 胃癌大腸癌 ID 487025 77歳男性 外科
- リンパ腫疑い ID; 1429927 74歳男性
- 脾臓腫瘍 ID; 935049 76歳男性
- 大腸癌肝転移 ID 1007129 49歳男性
- 大腸癌肝転移 ID; 1428101 62歳男性
- irAE大腸炎 ID; 746719 54歳男性

地域医療研修医、地域医療実習学生が必ず参加！

がん総合的診療チームの活動

がん相談支援センター

がん相談支援センター
～患者様・ご家族を支えます～

治療のこと 病院のこと 心のこと セカンドオピニオンのこと
生活のこと がんサロン等のこと
相談無料 治療費のこと 仕事のこと 秘密厳守

©2010 熊本県くまモン
熊本県がん相談機能向上事業

がんリハビリテーション



がんサロン

山鹿がんサロン

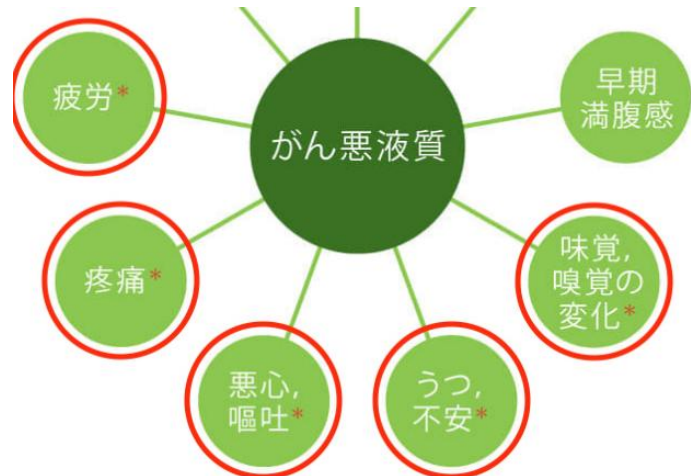
患者さんご家族の交流の場です。体調のことや日頃の不安など一緒に話したり、情報交換をしませんか？

日時：毎月第2金曜日
14:00～15:00
場所：山鹿市民医療センター
1F 医療研修センター
内容：ミニレクチャーと交流会



緩和ケア

がんと栄養管理



医科歯科連携

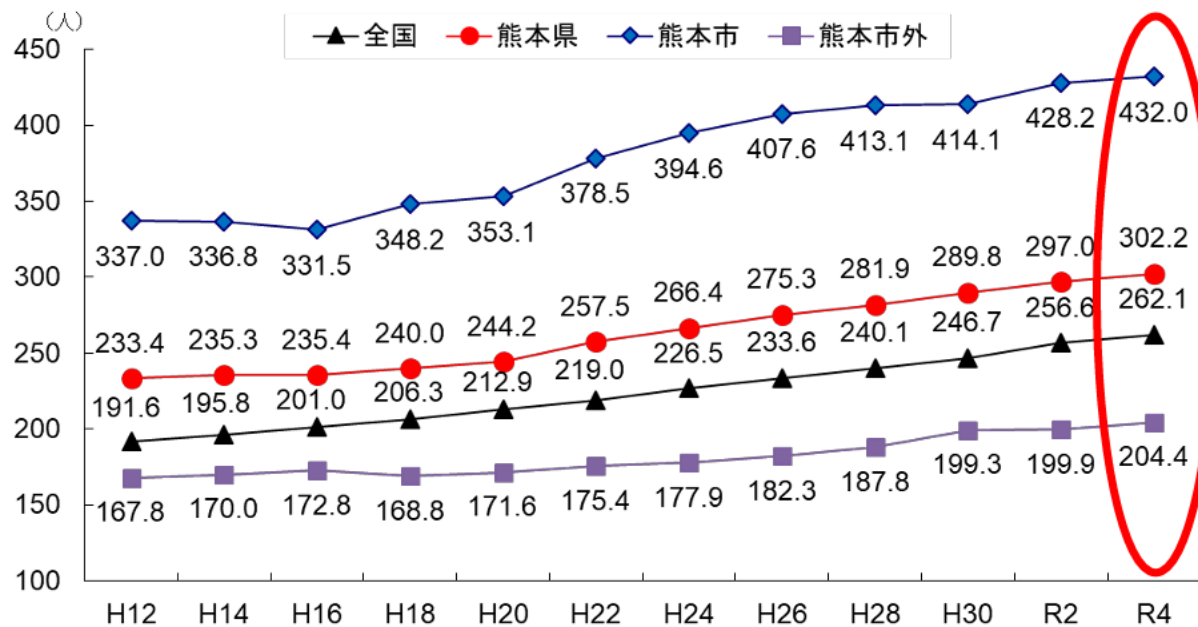
がんの治療を受けられる患者さんへ
御手紙に取ってお読みください。

口は「生きる」ための入り口
～美味しく食べて、元気をとりもどす～

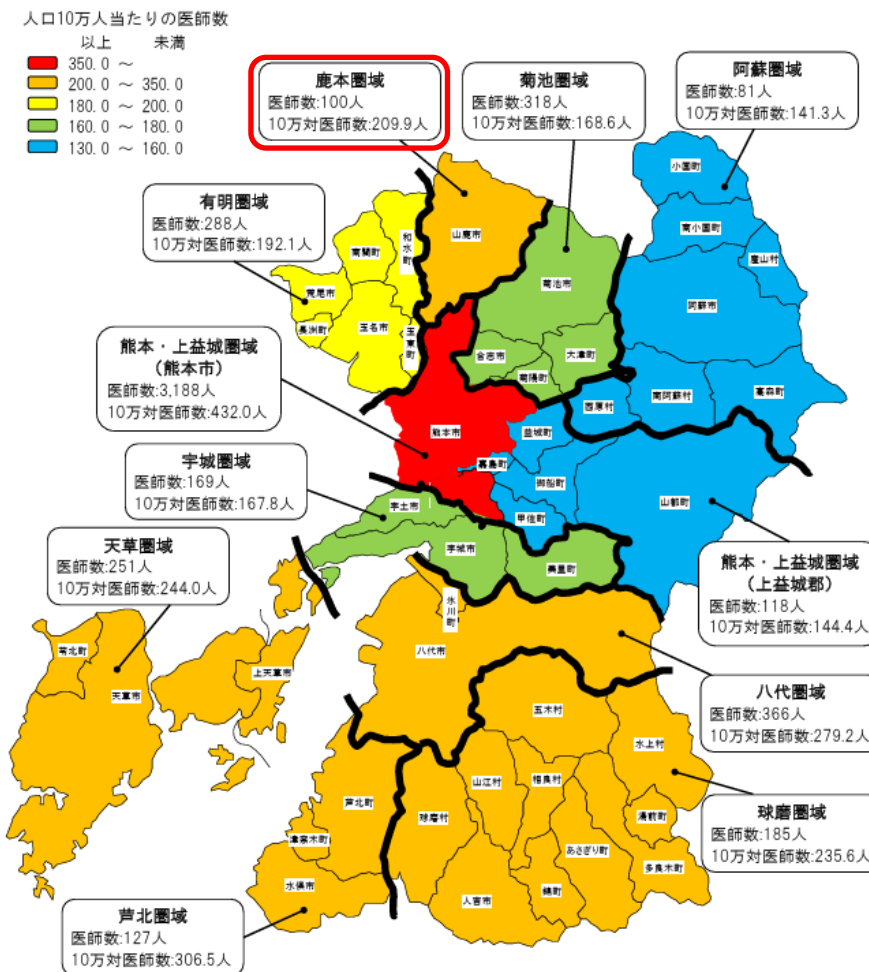
がん治療と口腔ケア
～がんを克服するためにできること～

医師数不足にどう対応する？

人口10万人あたりの熊本県地域別 医療施設従事医師数



二次医療圏あたりの医師数





医師の地域的な偏在の解決

計画的な資格取得と最新医療の経験によるキャリアパス支援体制

学会発表、論文作成の励行と経費補助

新たな認定施設

日本消化器外科学会、日本消化器病学会、日本肝臓学会、
日本胆道学会、日本消化管学会、高度腹腔鏡下肝切除、
日本がん治療認定医機構・研修施設、日本緩和医療学会、
日本消化管学会、日本消化器内視鏡学会(連携)

新たな専門医・指導医等 (のべ30名)

消化器病専門医 3名、指導医 2名、肝臓専門医 3名、指導医 1名
外科専門医 1名、指導医 4名、消化器外科専門医 4名、指導医 1名
胆道専門医 1名、消化器内視鏡専門医 1名、総合内科認定医 1名
整形外科専門医 5名、緩和医療学会・腹部救急 認定医 1名
日本DMAT隊員 2名

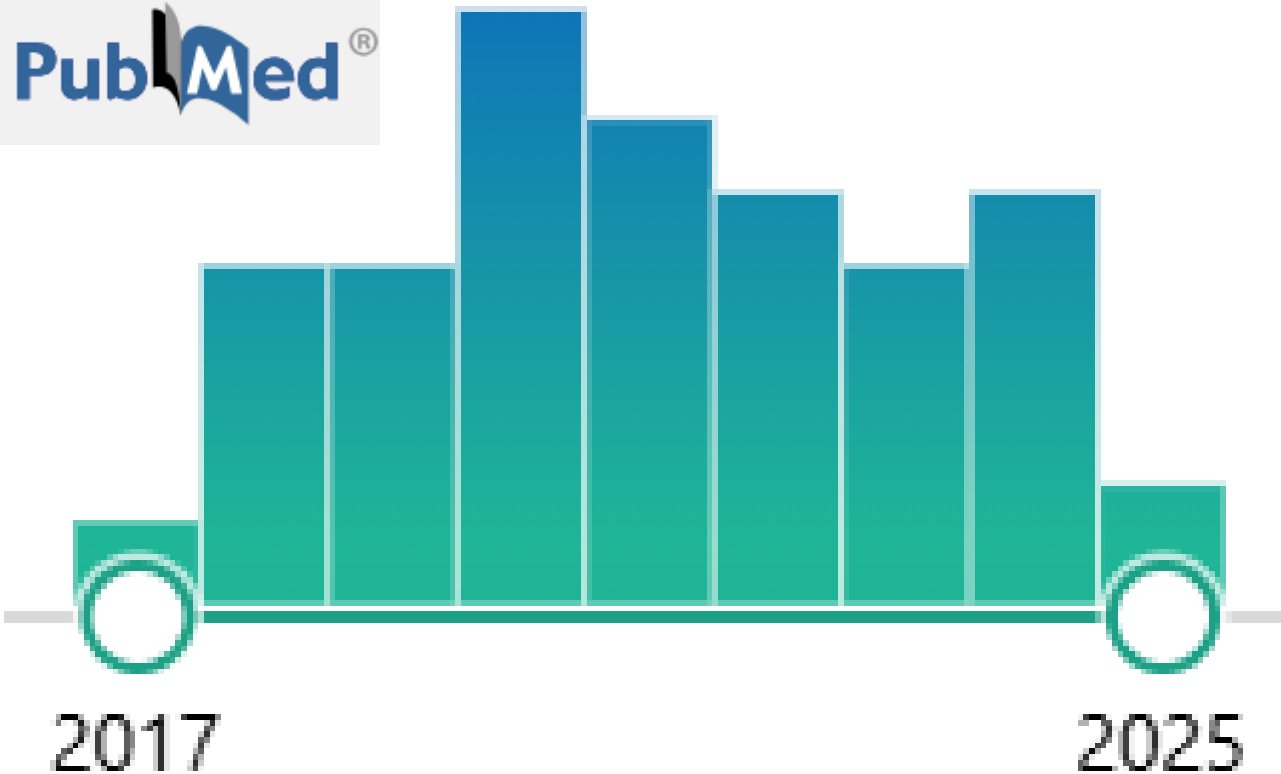
2016年4月以降の実績

医師の地域的な偏在の解決

計画的な資格取得と最新医療の経験による**キャリアパス支援体制**

英語論文73編

Yamaga City Medical Center



First author (2024年以降)

- Masuda T: Cancers 2025, Anticancer Res. 2025
- Karashima R: Surg Case Rep. 2024
- Motohara T: Clin J Gastroenterol. 2024
- Nakagaki T: Anticancer Res. 2024
- **Yoshida K: Eur Radiol. 2024**
- Beppu T: J Surg Oncol. 2024, Hepatol Res. 2024, Anticancer Res. 2024

紹介医の先生方⇒地域の先生方への恩返し

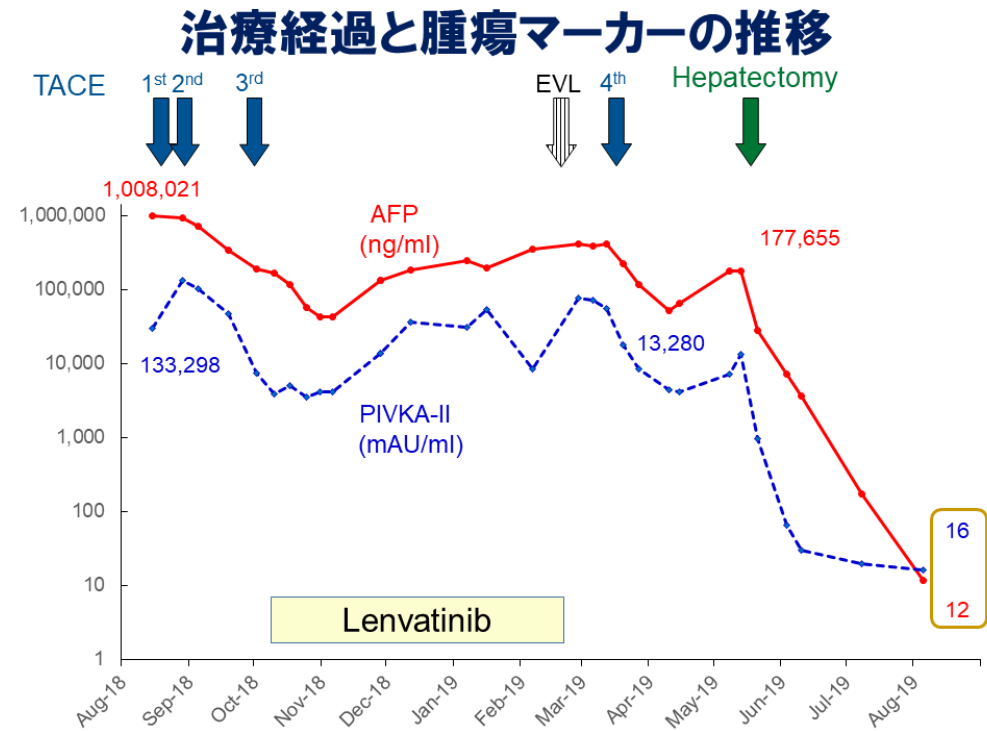
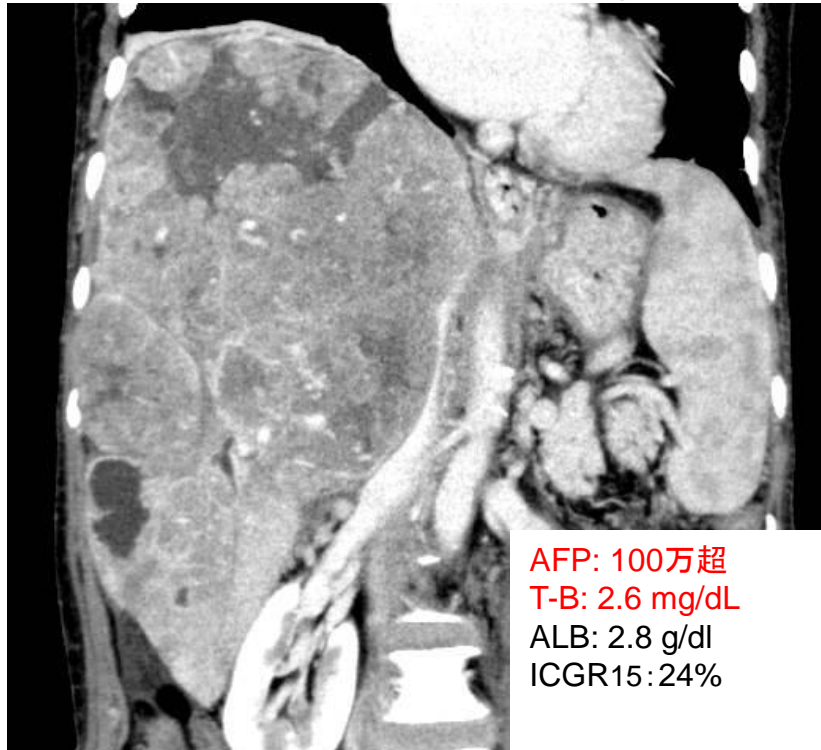
- Nasu J: 熊本中央病院、2019
- Hara A, Koba I: 山鹿中央病院、2019、2024
- Fukubayashi K: くまもと県北病院、2019
- Kawaguchi H: 川口病院、2020
- Yukimura T: 幸村医院、2020
- Miyamura S: 山鹿温泉リハビリ病院、2021
- Kinishita K, Matsumura F: 大牟田天領病院、2021、2023
- Doi T: 宮崎県立延岡病院、2021
- Kawano K: 河野クリニック、2022
- Yoshizato K: 吉里医院、2025



医師の地域的な偏在の解決

計画的な資格取得と最新医療の経験によるキャリアパス支援体制

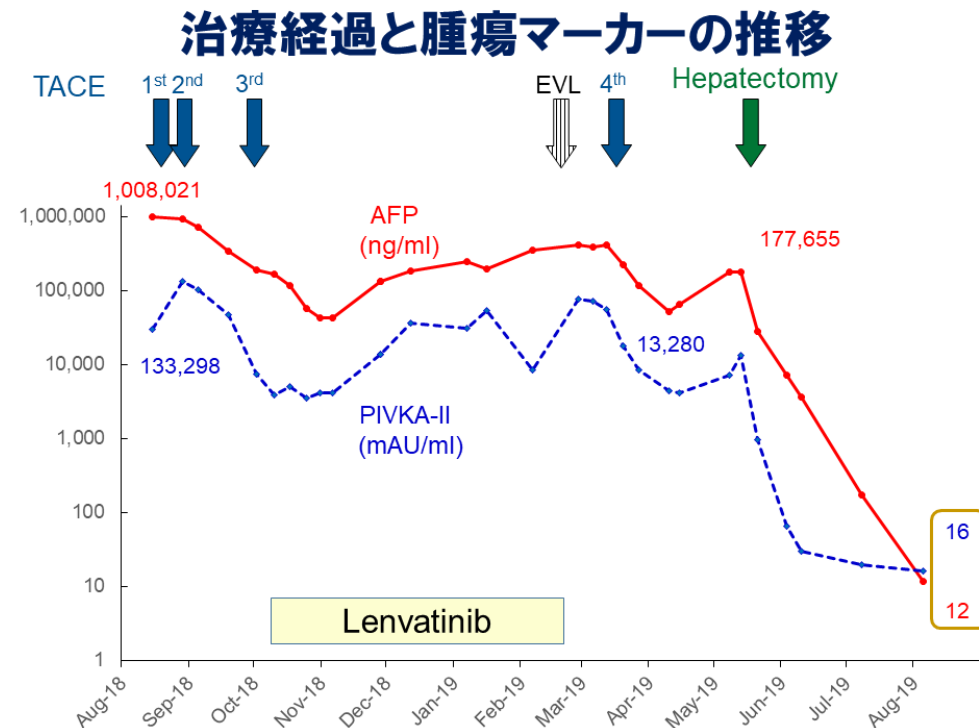
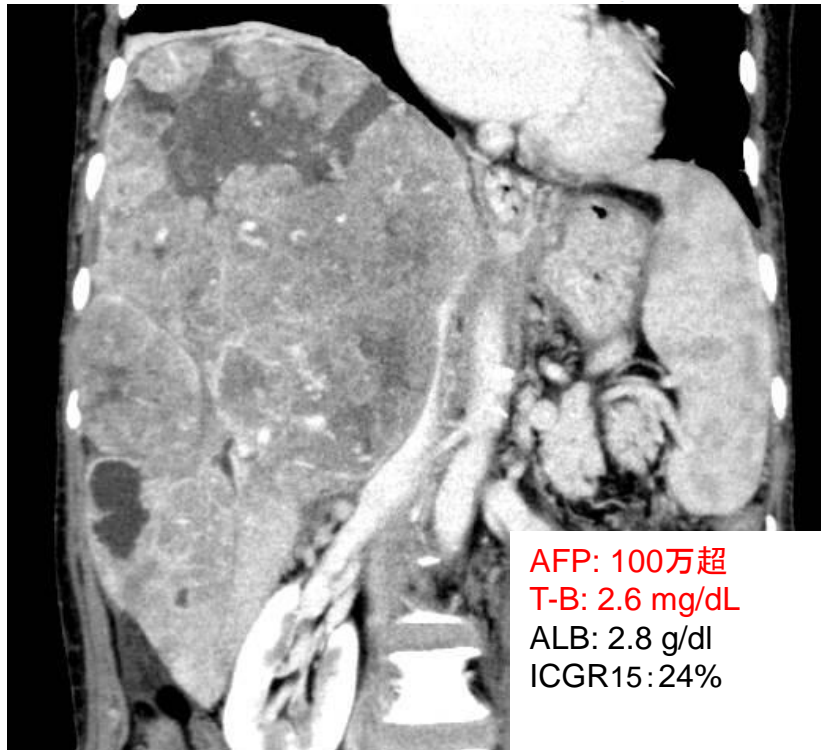
Conversion Hepatectomy for Huge Hepatocellular Carcinoma With Arterioportal Shunt After Chemoembolization and Lenvatinib Therapy



医師の地域的な偏在の解決

計画的な資格取得と最新医療の経験によるキャリアパス支援体制

Conversion Hepatectomy for Huge Hepatocellular Carcinoma With Arterioportal Shunt After Chemoembolization and Lenvatinib Therapy



医師の地域的な偏在の解決

計画的な資格取得と最新医療の経験によるキャリアパス支援体制

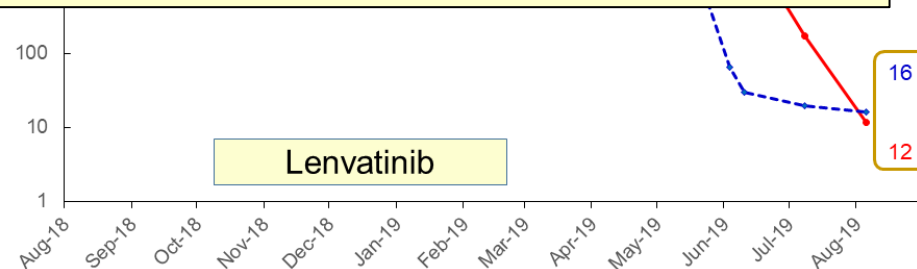
著者：山鹿市民医療センター
外科 4名、放射線科1名、腫瘍内科 1名、
消化器内科 2名、紹介医 1名、病理医 1名

治療経過と腫瘍マーカーの推移

TACE 1st 2nd 3rd EVL 4th Hepatectomy

治療開始後6年、
肝切除後5年半無再発生存中！

AFP: 100万超
T-B: 2.6 mg/dL
ALB: 2.8 g/dl
ICGR15: 24%



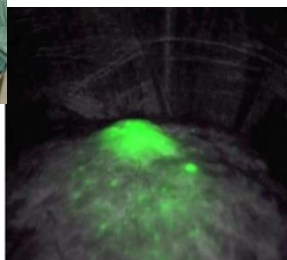
最新医療の実現に向けた最新 technology 導入

CT-volumetry
(by VINCENT)



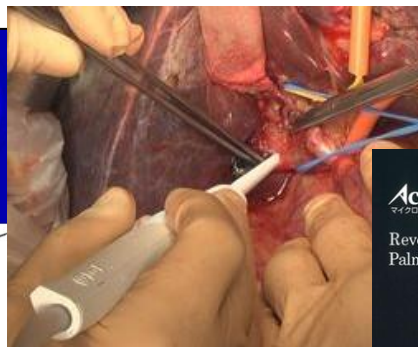
高難度 腹腔鏡下
肝切除術
ライセンス取得

ICG蛍光法
による肝癌の
術中検索

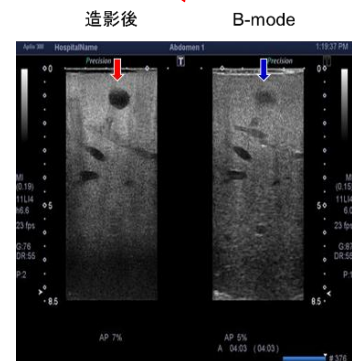
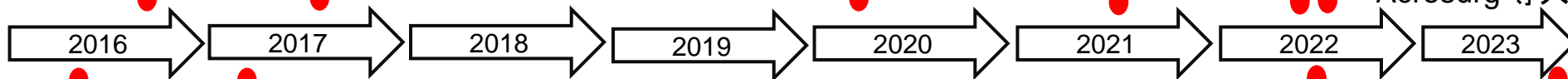


次世代型MWA
(Mimapro, Emprint)

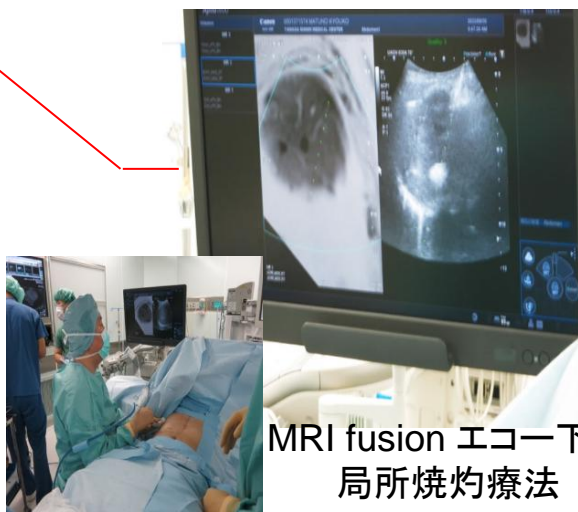
水圧式ナイフ
Erbe JET2 導入



Microwave凝固切開装置
Acrosurg 導入

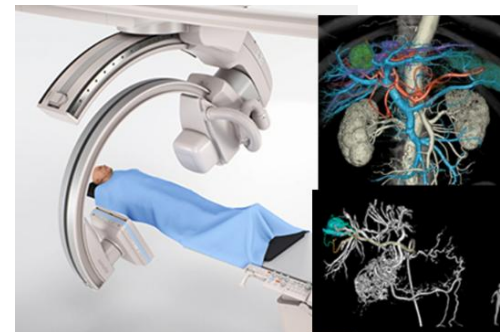
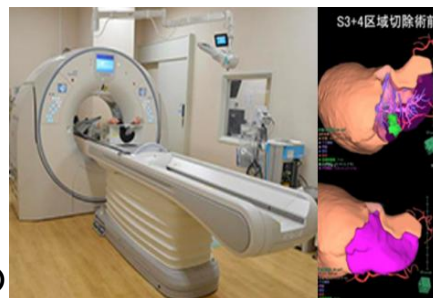


Sonazoid 造影エコー



MRI fusion エコー下の
局所焼灼療法

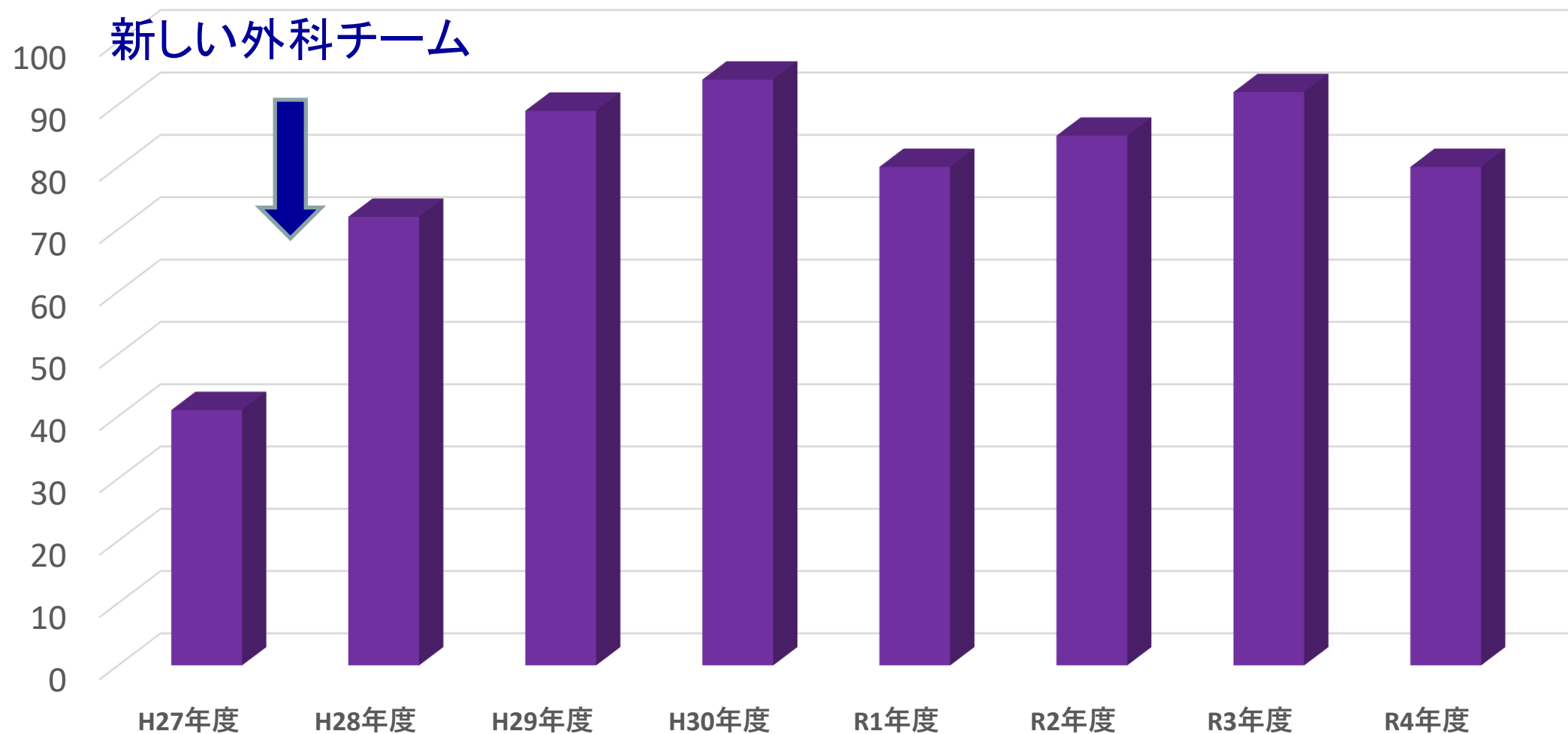
320列 area detector CT



高感度、低被爆
X線血管撮影装置
Alphnix sky+

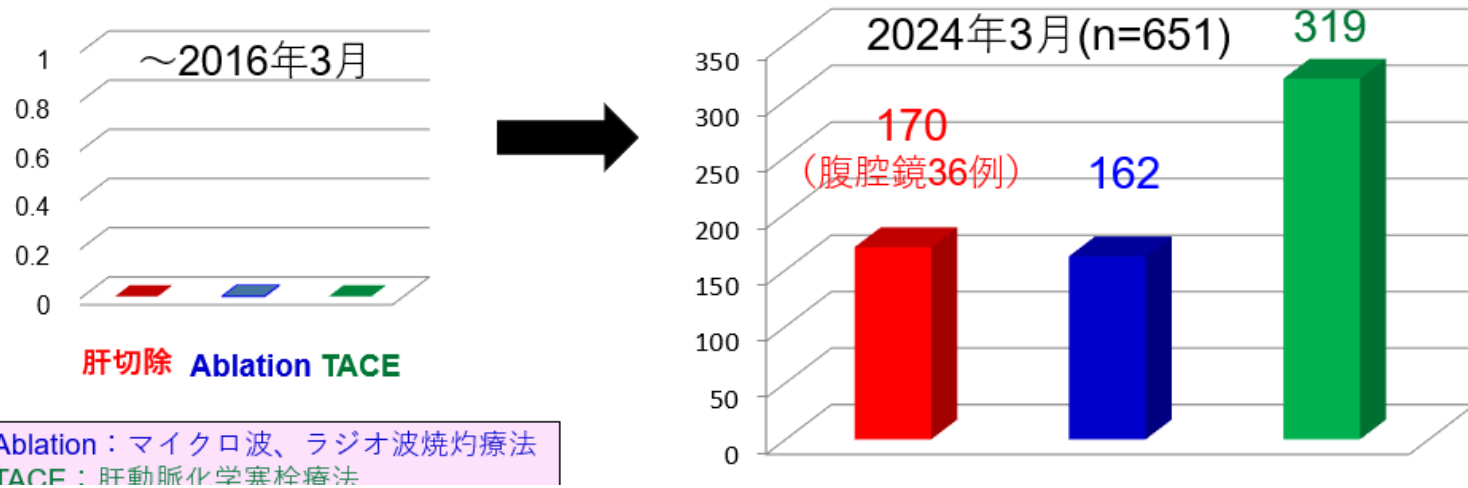


悪性腫瘍手術件数の推移





肝がん治療数の年次別推移



熊本県 病院別肝がん治療数 (2022年)

順位	熊本県	病院名	治療実績		
			合計件数	手術あり	手術なし
1	熊本県	熊本大学病院	561	378	183
2	熊本県	済生会熊本病院	141	102	39
3	熊本県	くまもと森都総合病院	132	61	71
4	熊本県	独立行政法人国立病院機構熊本医療センター	106	70	36
5	熊本県	医療法人社団世安会くまもと乳腺・胃腸外科病院	79	-	79
5	熊本県	山鹿市民医療センター	79	68	11
7	熊本県	熊本赤十字病院	67	47	20
8	熊本県	独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院	56	27	29
9	熊本県	独立行政法人地域医療機能推進機構 人吉医療センター	53	53	-
10	熊本県	医療法人財団聖十字会西日本病院	48	20	28



医師の地域的な偏在の解決

山鹿市医師修学資金貸与制プログラム

2024年度 小児科医師派遣



小児科 小澄 将士先生

2024年4月より赴任することになりました、小児科の小澄将士(こずみまさと)と申します。熊本大学小児科に入局後、熊本大学病院、熊本赤十字病院等で診療に従事してまいりました。昨年は福田病院新生児センターで新生児医療に従事しておりました。

鹿本高校出身であり、故郷で医療に従事できることを大変嬉しく思っております。

本年度より新体制での始動となるため、まずは、山鹿地域の小児医療の現状把握、ならびに近隣医療機関との連携体制の確立が直近の課題と考えております。

微力ではございますが、これまでの経験を活かし、山鹿地域の医療に貢献できればと考えておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

- | | |
|-----------|--------------|
| 1. 小児科医師 | 専門医取得前 |
| 2. 泌尿器科医師 | 専門医取得後、大学院進学 |
| 3. 医学部学生 | |

山鹿市看護師 修学資金貸与制プログラム あり

山鹿市薬剤師 修学資金貸与制プログラム 依頼中



医師の地域的な偏在の解決

熊本大学との連携・熊本県医師修学資金貸与医師 キャリア形成プログラム

医政第535号

令和6年(2024年)11月19日

熊本県医師修学資金貸与制度における知事指定病院等の長 様
各専門研修基幹施設の長 様

熊本県健康福祉部長
(公印省略)

熊本県医師修学資金貸与制度に係る知事指定病院等の区分の変更について(通知)

平素より、本県の医療行政の推進に御理解と御協力をいただき深く感謝申し上げます。

さて、本県では、平成21年度に熊本県医師修学資金貸与制度を創設し、県内の地域医療を担う医師を養成しており、修学資金の貸与を受けた医学生は、大学卒業後の一定期間、知事が指定する医師不足地域の病院等(知事指定病院等)で勤務いただくことになっています。

知事指定病院等は第1から第3グループに分かれています。当方において実施した令和7年度(2025年度)熊本県医師修学資金貸与制度に係る知事指定病院等における県内の専門研修施設の状況調査結果に基づき、熊本県医師修学資金貸与医師の勤務等に関する要綱第3条で定める区分を変更する予定ですので、予めお知らせします。

なお、「熊本県医師修学資金貸与医師の勤務等に関する要綱」及び「熊本県医師修学資金貸与医師キャリア形成プログラム」については、令和7年(2025年)3月までに改正予定であることを申し添えます。

記

- | | | |
|---|----------|---------------------------------------|
| 1 | 医療機関名 | 山鹿市民医療センター |
| 2 | 指定病院等の区分 | 変更前：第1グループ
変更後：第3グループ |
| 3 | 変更の理由 | 専門研修プログラムを構成する専門研修施設になっている診療科(基本領域)が、 |

熊本県医師修学資金貸与制度における知事指定病院等一覧(令和7年4月1日～)

【第1グループ】

圏域	医療機関名
有明	①有明医療センター ②くまもと県北病院
菊池	③熊本再春医療センター
八代	④熊本労災病院 ⑤熊本総合病院
芦北	⑥水俣市立総合医療センター
球磨	⑦人吉医療センター
天草	⑧天草地域医療センター

【第3グループ(うち病院)】

圏域	医療機関名
熊本	⑰こころの医療センター
宇城	⑱熊本南病院 ⑲こども総合療育センター ⑳済生会みすみ病院
有明	㉑和水町立病院
鹿本	㉒山鹿市民医療センター
菊池	㉓菊池郡市医師会立病院 ㉔菊池病院
八代	㉕八代市医師会立病院 ㉖八代北部地域医療センター

令和7年4月からいわゆる「地域枠医師」
が、初めて2名赴任

地域住民の生命と健康への貢献


山鹿市民医療センター



医師の地域的な偏在の解決


常勤医師不在・不足の診療科の根絶 2019年

- 呼吸器内科、神経内科、救急科
- 麻酔科
- 泌尿器科
- 緩和ケア科
- 小児科・眼科

- 
- 常勤医の確保(増)による
医師の負担軽減
 - 断らざるを得ない診療・救急の根絶

常勤医師不在・不足の診療科の減少 2025年

- 呼吸器内科、神経内科、救急科
- 麻酔科
- 泌尿器科
- 緩和ケア科
- 小児科・眼科

- 
- 常勤医の確保(増)による
医師の負担軽減
 - 断らざるを得ない診療・救急の根絶

熊本大学病院診療科への働きかけ
熊本県医師修学資金貸与医師キャリア形成プログラム
山鹿市医師修学資金貸与制プログラム
熊本県地域医療連携ネットワーク構想



キャリアアップ支援(看護師)

認定看護師・特定行為研修の資格取得の励行(2016年以降)

- **認定看護師 5名**

緩和ケア、がん性疼痛管理、救急看護、認知症看護、
皮膚・排泄ケア

- **特定行為研修 4名 ⇒ 医師の業務のタスクシフト**

術中麻酔管理領域

外科術後病棟管理領域

創傷管理関連

栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連

精神及び神経症状に係る薬剤投与関連



キャリアアップ支援 (看護師)

2024年11月1日



令和6年度 **新興感染症の発生等を想定した訓練**を実施しました

目的：新興感染症が疑われる患者が受診した場合に、迅速かつ適切に対応するための体制を整えることができる。

目標：医療機関全体が感染症対応に対する具体的かつ現実的な対応力と意識を向上させ、効果的な体制を維持できる。

設定：国外で上気道炎症状を呈する新たな感染症が発生し、国内でも既に渡航歴のない人から感染が確認（協定指定医療機関は感染者対応の準備を開始するよう厚生労働大臣から公表）されている状況

地域の医療機関との合同訓練



地域への貢献



熊本県看護職キャリア支援事業

2022年度 熊大病院との看護師相互派遣



外科術後病棟管理領域 **特定行為看護師**
※ドレーン管理、ピック挿入などで活躍中！



※地域医療研修
※外科病棟の看護システム確認作業
⇒リーダー業務を見直して時間外勤務時間を半減



キャリアアップ支援 (放射線技師)

大学院修士の資格取得

熊本大学大学院保健学教育部保健学専攻博士 前期課程放射線技術科学コース

CTにおける肝線維化のグレード評価


Yoshida et al. *European Radiology*
<https://doi.org/10.1007/s00330-024-10793-6>



COMPUTED TOMOGRAPHY

Low tube voltage and deep-learning reconstruction for reducing radiation and contrast medium doses in thin-slice abdominal CT: a prospective clinical trial



Kenichiro Yoshida^{1,2}, Yasunori Nagayama^{3*} , Yoshinori Funama⁴, Soichiro Ishiuchi³, Toshihiko Motohara⁵, Toshiro Masuda⁶, Takeshi Nakaura³, Takatoshi Ishiko⁶, Toshinori Hirai³ and Toru Beppu⁶

熊本大学大学院
放射線診断学講座
とのcollaboration!



Motivation upのためのインセンティブの付与

医師

※実績に応じた「**研究手当加算**」を算定、支給。

評価項目：診療実績、教育・研究活動、認定医・専門医資格、公的な行事への出席（医局会、委員会活動、公開講演会、経営会議など）、職務としての研修

※時間外の救急車受け入れ、緊急入院

看護師

※キャリアアップ支援

※認定・専門、特定行為研修の資格取得

志をもって、努力したひとを
正当に評価する

薬剤師：初任給調整手当

他職種：資格手当

当センターにおける働き方改革に向けた体制づくり

医師の働き方改革検討部会

令和6年度の医師の働き方改革実施に向けて、検討部会において原則毎月1回、熊本県医療勤務環境改善支援センターの支援を受けながら協議を行っていく

「熊本県医療勤務環境改善支援センター」からの支援施設として選定された。
(県内で3施設)

アドバイザー：1名
医業経営コンサルタント3名

メール等での事前打ち合わせ
資料交換、相互提案や課題検討
月1回の実会議(非online)

2023年度

部会長
別府事業管理者

副部会長
院長

部会員
☆実働メンバー

熊本県医療勤務
環境改善支援
センター

※支援センターに提出する資料や、知り得た情報を労基署へ通報することはない。

医師（推進リーダー）	石河副院長
医師	科長（医局長）
医師	科長
事務部	事務部長
看護部	看護部長

医師事務作業補助部門	事務次長	※案件に応じて 適宜参加
コメディカル	副薬剤科長・臨床検査技師長 副理学療法士長・副作業療法士長 副臨床工学技士長・主任診療放射線技師 管理栄養士・地域医療連携室	

〈事務局〉 経営管理課長、 経営管理課長補佐、 係員



医師の働き方改革の経過

- 医療労務管理アドバイザーとの「医師の働き方改革支援」の1年目が終了
- この間に勤務時間管理、労働時間と自己研鑽の振り分け、院内規則の改定などの準備を進めた
- A水準（960時間以内）確保
- 2023年度末に宿日直申請許可
- 「看護師のタスクシフト＋院内の働き方改革」に向けて、医療勤務環境改善支援センターと次年度の計画案を作成。

断続的な宿直又は日直勤務許可書

菊池基署発1010第3号
令和5年10月10日

事業の名称 山鹿市民医療センター
所在地 熊本県山鹿市山鹿511番地
代表者職氏名 病院事業管理者 別府 透

菊池労働基準監督署長

令和5年6月30日付けをもって申請のあった断続的な宿直又は日直の勤務については、下記の附款を附して許可する。
なお、この附款に反した場合には、許可を取り消すことがある。

記

- 1 回の勤務に従事する者は次のとおりとする。
宿直 1人以内
- 1人の従事回数は次の回数をこえないこと。
宿直 週1回以内
- 勤務の開始及び終了の時刻は、それぞれ次のとおりとすること。
宿直 開始 22時00分より前に勤務につかせないこと。
終了 8時30分より後に勤務につかせないこと。
- 1回の宿直の手当額は、21,000円以上とすること。
なお、この金額については、将来においても、宿直の勤務につくことの予定されている同種の労働者に対して支払われている賃金の1/3額の3分の1を下回らないようにすること。
- 通常の労働に従事させる等許可した勤務の態様と異なる勤務に従事させないこと。
- 宿直の勤務につかせる場合は、就寝のための設備を設けること。

(備考)

地域住民の生命と健康への貢献
山鹿市民医療センター

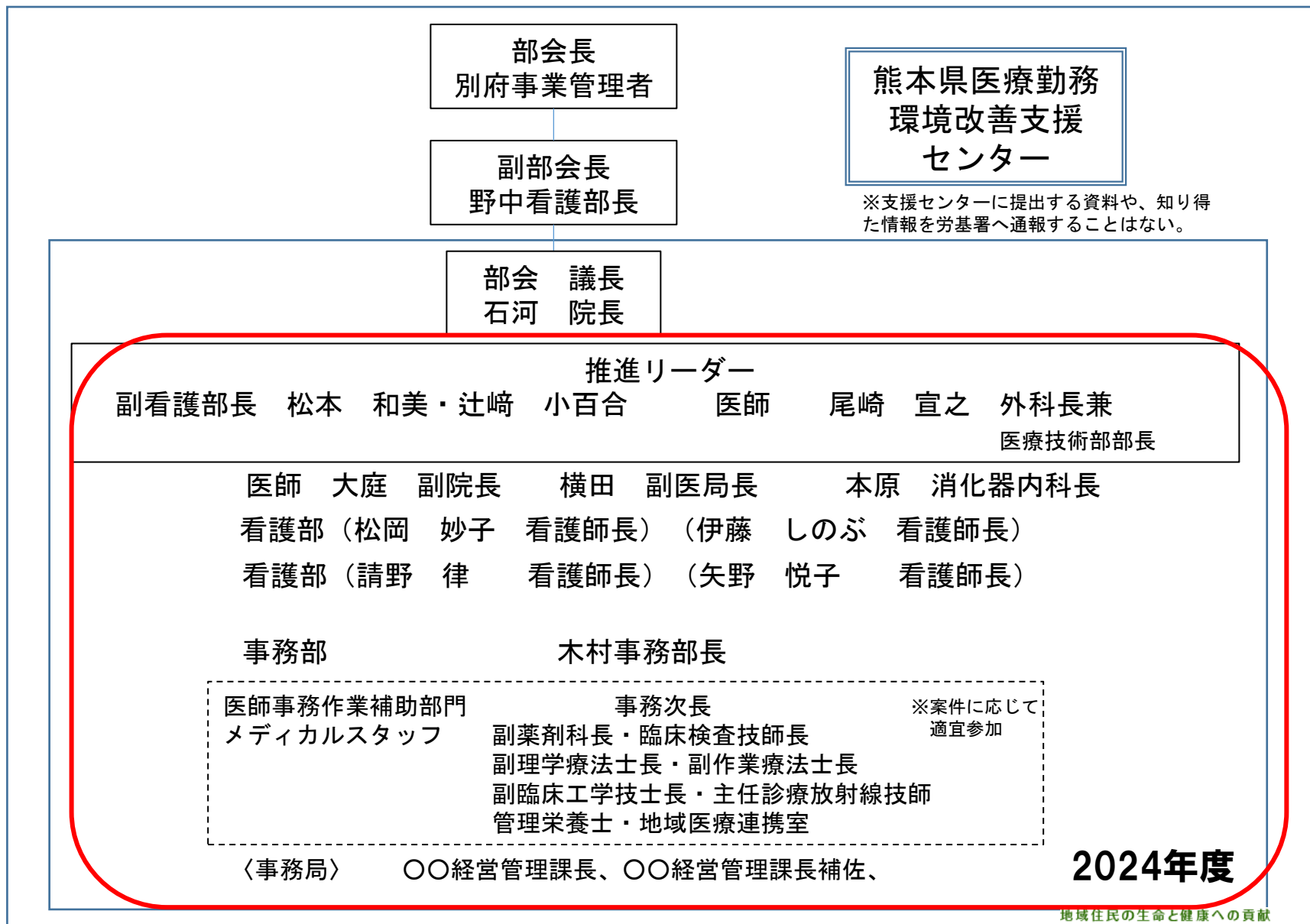
「医療従事者の働き方改革」検討部会の立ち上げ

熊本県医療勤務環境改善支援センターの支援を受けて、院内働き方改革実施に向けて検討部会（原則毎月1回）を実施し、協議を行う。



院内の多職種が参加し、現場の実務者でワークショップを定期開催

※山下看護師がパネルディスカッションで午後発表



熊本県医療勤務
環境改善支援
センター

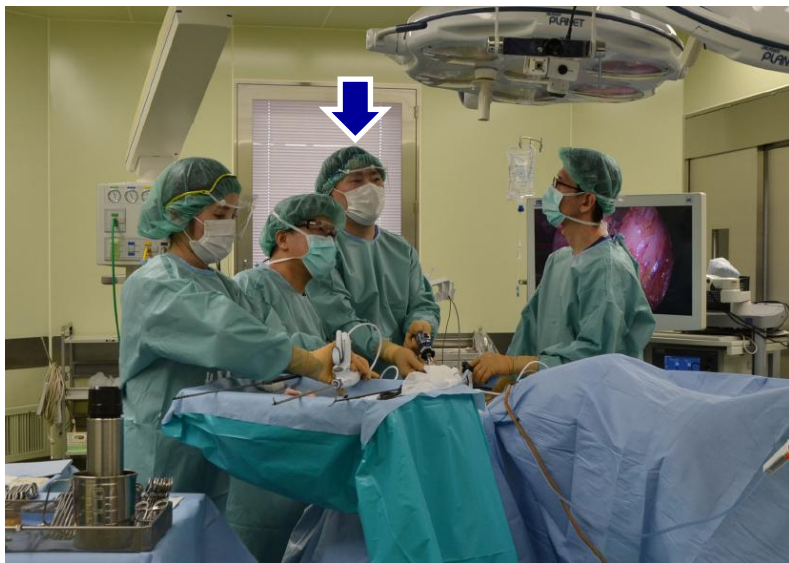
※支援センターに提出する資料や、知り得た情報を労基署へ通報することはない。

タスクシフトの実際

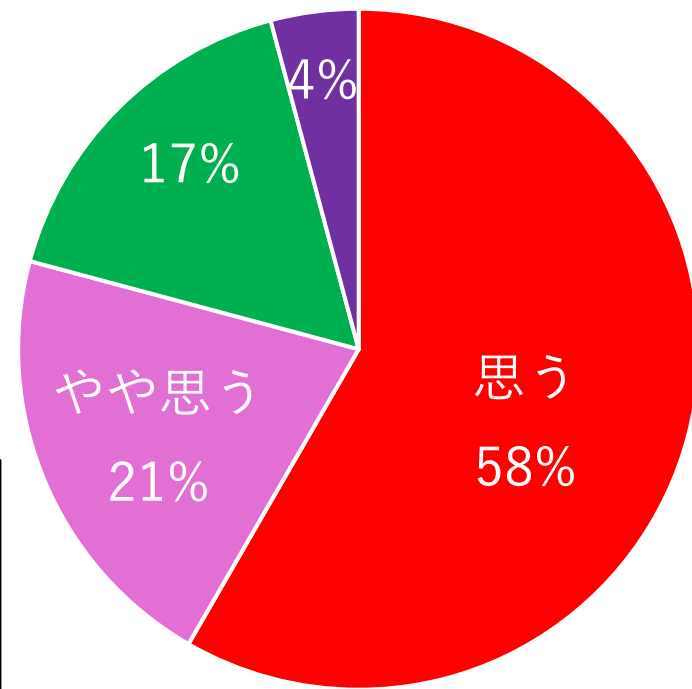
臨床工学技士による
手術支援

医師事務補助による
外来陪席業務

放射線技師による
血管確保



看護師の業務の負担は
軽減したか？



1日に190.8分
の時間削減が可能

地域住民の生命と健康への貢献

山鹿市民医療センター

2024年度 腹腔鏡手術スコープ
オペレーター(33/126例)
胆のう摘除13例、大腸切除10例、
胃切除4例、ヘルニア2例、他

- ① 陪席導入前後での業務量
→医師・看護師共に業務量は減少した。
- ② 診察時に患者さんに向き合う時間
→医師・看護師共に長くなった。
- ③ 患者さんの待ち時間
→短縮した。



本日の話題

- 当センターの強みを生かす
- 病院を含む地域全体の活性化
- 将来への課題





超高齢化、人口減少社会における持続可能な 保健医療の提供体制を構築していく

将来につなげる医療体制へ

① 病床の機能の分化及び連携の推進

- ・ 地域における病床の機能の分化及び連携を推進。
- ・ 病床の機能区分に応じて医療資源を投入。
- ・ 患者の早期復帰を推進

② 在宅医療等の充実

- ・ 在宅医療及び介護サービスの充実

③ 医療従事者・介護従事者の養成・確保

- ・ 少子高齢化、人口減で再編成

第8次

熊本県保健医療計画

2024年度～2029年度



令和6年4月21日 「健幸都市」宣言

食事
地元の食材の良さを取り入れ、バランスの良い食事を心がけましょう。

健診
自分の身体を知るために、定期的に健診(検診)を受けましょう。

睡眠
質の高い睡眠と休養、適度な運動を取り入れ、心と身体の健やかさを保ちましょう。

運動

休養

地域
地域の中でともに支え合い健幸づくりの輪を広げましょう。

誰も
誰もが健幸になれるまちを目指しましょう。

輪

健幸とは…?
生涯にわたり健やかで幸せに暮らすこと

令和7年1月 新市発足20周年



山鹿市 早田順一市長

ライフステージに合わせて、生涯にわたり健やかで幸せに暮らせるまちづくり



鹿本医療圏の第8次保険医療計画の課題と方向性

- ◇ 人口は約 4.8 万人(県人口の約 2.8%)、
 - 今後も**高齢化は進み、人口の減少**が予測される。
- ◇ 60 歳以上の医師57.9%、県平均(56.2%)を上回り、**医師の高齢化が進み、後継者が不足。**
- ◇ 医療機能は集約され、山鹿市の病院は6施設のみ。
 - 病院は市の南部に限局

山鹿市の健幸都市宣言を背景に

山鹿市と共に住民の健康づくり・医療福祉活動の推進
地域の医療機関との役割分担と連携が必要
在宅医療・救急医療・災害医療の維持
熊本市・近隣の大規模医療施設とのネットワークづくり





「健幸」を目指す都市（まち） づくりに必要な病院機能

● コミュニティを維持し、仲間を減らさない

健診・予防医学

● 病気を防ぐ

● 早く見つけて治す

● すぐに治せなくても治療を続けられる環境

地域完結型医療

● 地域で生活しながら治療を受ける

● 暮らして続けていけるように地域社会で支援

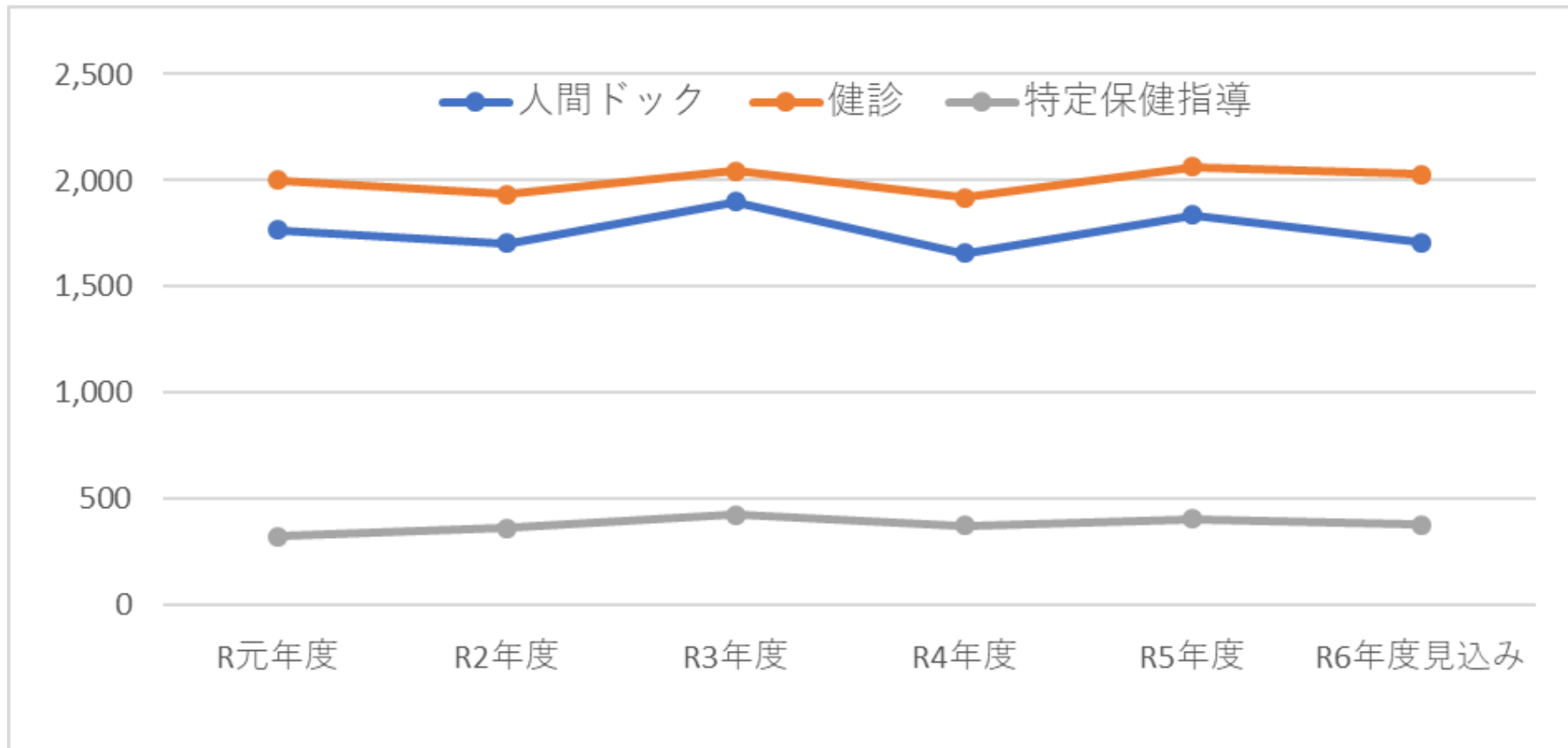
● 最後まで笑顔で

緩和ケア



健診部門の充実・発展

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度見込み
人間ドック	1,768	1,704	1,900	1,658	1,838	1,707
健診	2,000	1,934	2,043	1,920	2,062	2,027
特定保健指導	324	363	425	373	405	378
	4,092	4,001	4,368	3,951	4,305	4,112



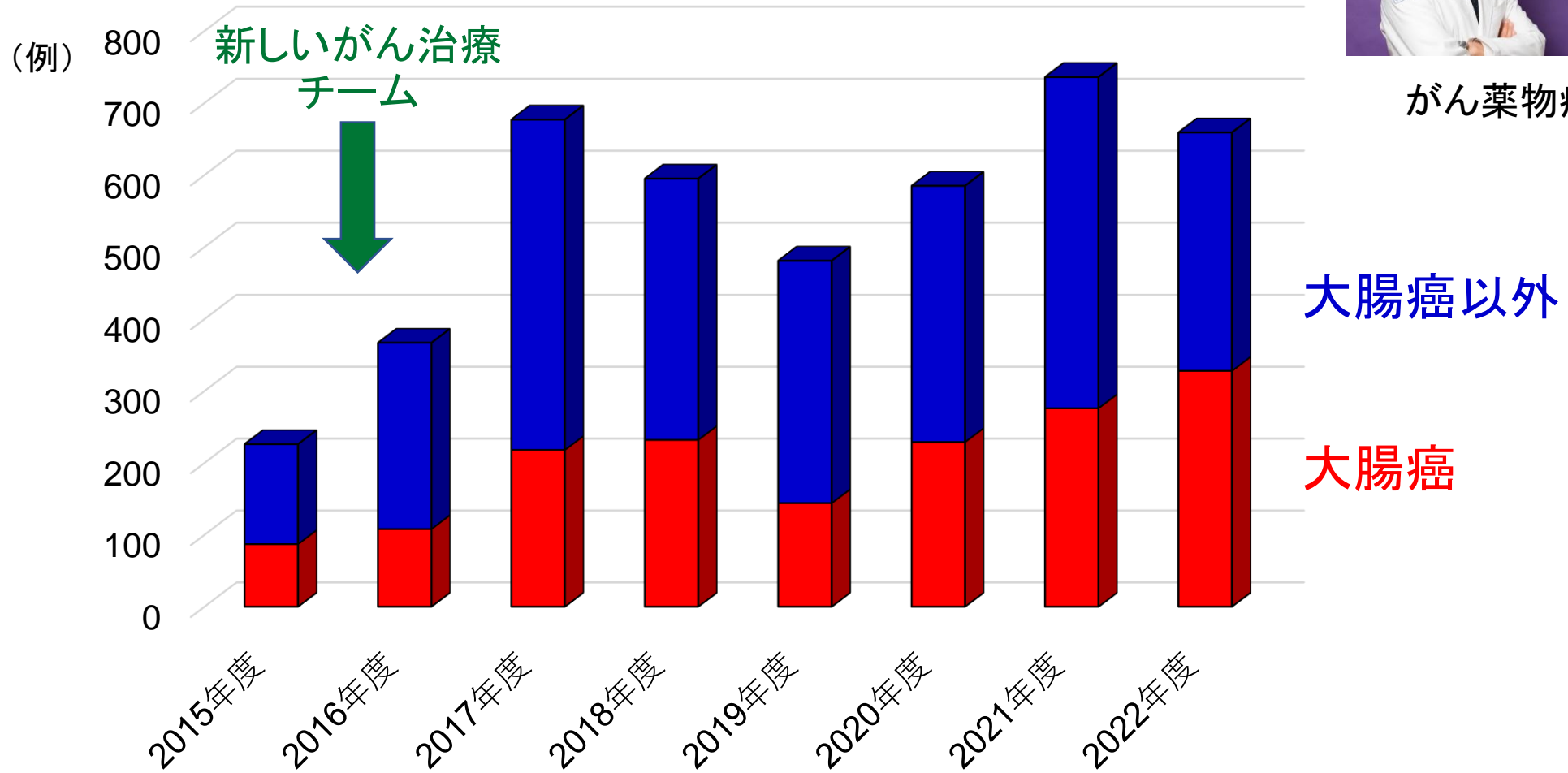


外来化学療法部門の充実・発展



がん薬物療法専門医

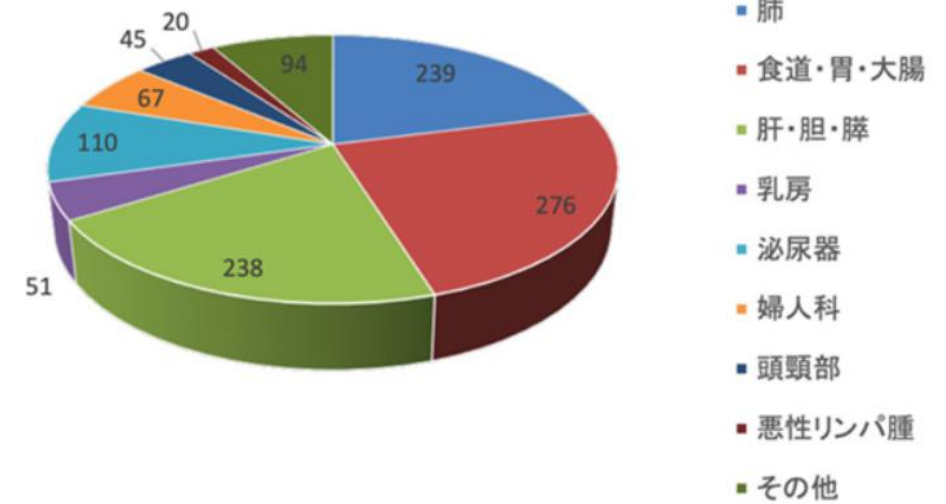
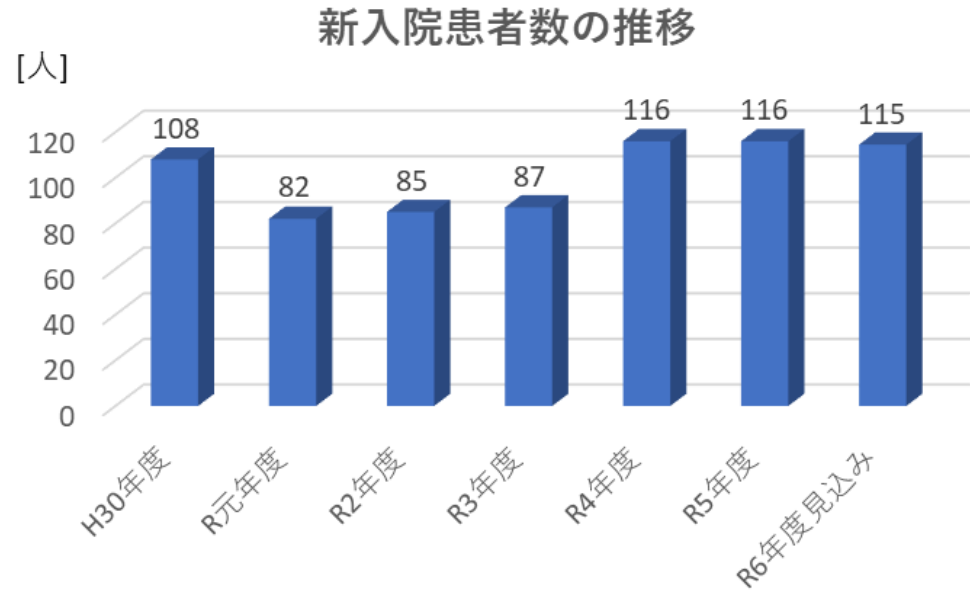
消化器癌の化学療法





緩和ケア部門の充実・発展

11年間の疾病別累計



病室 (無料個室)

全室個室で「その人らしさ」を支援しています



病室 (A室)

畳の間があります (家族の宿泊可能)



病室 (B室)

各部屋に和を感じさせる障子があります



緩和ケア専門医、緩和ケア認定看護師・がん薬物療法認定薬剤師・がん専門相談員、がんリハビリテーション研修修了者等、多数のスタッフが支えます

山鹿市民医療センター 「第6回 市民公開講座」

今後の人口減少・高齢化に伴う医療ニーズの質・量の変化や労働力人口の減少を見据えて、質の高い医療を効率的に提供できる体制の構築を目指します。

そのためには、地域医療構想の策定に合わせて、当センターの将来の在り方・役割を十分に認識して、行政や地元医師会と連携して市民の健康福祉の向上に取り組む必要があります。

今回の市民公開講座では、健康で幸せな市民が集う「健幸都市」とそれを支える「病院」づくりについて、地域の自治体病院の経済効果を含めて、市民の皆様にも広く理解を深めていただきたいと思います。



山鹿市制 20周年 地域の未来に向けての 「健幸都市」と「病院」づくり

【日時】令和6年 5月25日(日) 【会場】山鹿市民交流センター
文化ホール

入場無料
事前の申込不要

ご挨拶：山鹿市長 早田 順一 鹿本医師会会長 幸村 克典 進行：看護部長 松本 和美

14:10～ ■講演(20分)

「まちづくりに向けた
当院のあり方」
山鹿市民医療センター院長 石河 隆敏

15:20～ ■特別講演Ⅱ(40分)

「熊本大学の
改革に向けて」
熊本大学学長 小川 久雄
(司会：病院事業管理者 別府 透)

4:35～ ■特別講演Ⅰ(40分)

「公立病院が果たす
経済波及効果と医療政策」

宮崎産業経営大学 教授 川島 秀樹
(司会：山鹿市民医療センター院長 石河 隆敏)

挨拶(御礼)：病院事業管理者 別府 透



公立病院が果たす 経済波及効果と医療政策

宮崎産業経営大学 経営学部教授

川島 秀樹

データサイエンス・AIを用いた公立病院・公的病院の研究

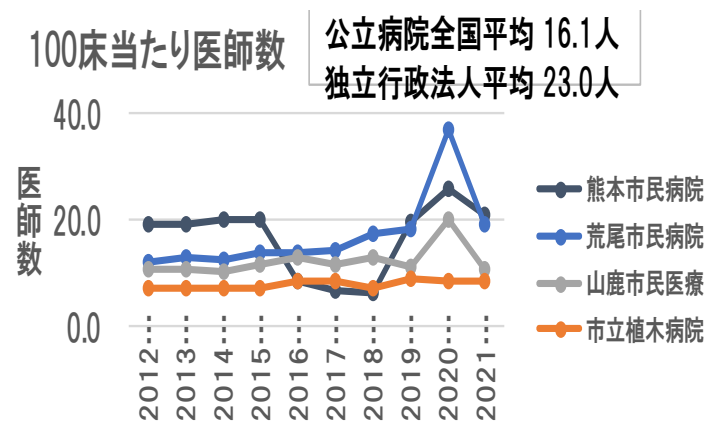
演題発表内容に関連し、発表者に開示すべき
COI 関係にある企業などはありません。

主催：山鹿市民医療センター 共催：山鹿市 後援：鹿本医師会

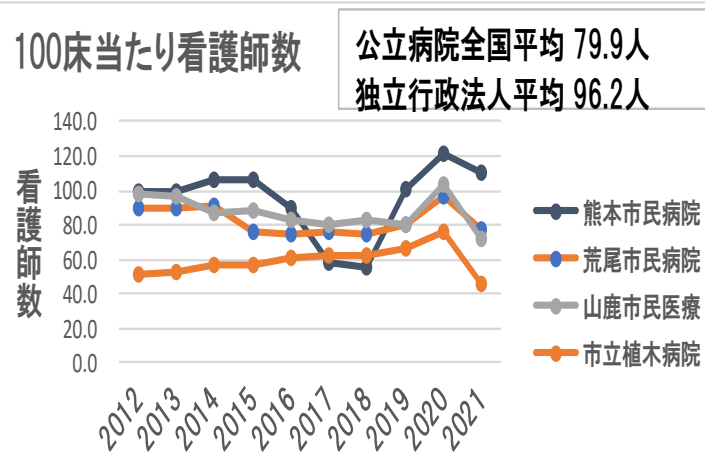
〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地 電話(代表)0968-44-2185 FAX.0968-44-2420 *http://yamaga-medical-center.jp/

医師・看護師の数 (100床あたり) 単位:人

医師 / 年度	病床数	2012 (平成24)	2013 (平成25)	2014 (平成26)	2015 (平成27)	2016 (平成28)	2017 (平成29)	2018 (平成30)	2019 (令和元)	2020 (令和2)	2021 (令和2)	平均
熊本市民病院	562->388	19.4	19.4	20.0	20.1	8.6	6.8	6.6	19.7	26.0	20.9	16.8
荒尾市民病院	342	12.0	13.1	12.8	13.9	13.9	14.6	17.5	18.2	37.2	19.3	17.3
山鹿市民医療	199	10.9	10.9	10.4	11.9	12.9	11.9	12.9	11.4	20.4	10.9	12.5
市立植木病院	141	7.1	7.1	7.1	7.1	8.5	8.5	7.1	9.2	8.5	8.5	7.9
公立病院全国平均		14.2	14.5	14.8	15.2	15.6	15.9	16.3	16.7	22.9	15.3	16.1
独立行政法人全国平均			21.8	20.7	20.7	23.1	24.1	24.5	24.8	25.6	21.6	23.0



看護師 / 年度	病床数	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	平均
熊本市民病院	562->388	98.8	99.9	106.2	106.3	89.4	58.0	54.8	100.5	120.9	110.1	94.5
荒尾市民病院	342	90.1	89.8	91.5	75.5	74.5	75.5	74.8	80.7	97.1	78.1	82.8
山鹿市民医療	199	98.5	96.8	86.6	88.1	82.6	80.1	82.6	79.6	103.5	71.6	87.0
市立植木病院	141	51.2	53.3	56.5	56.8	61.6	62.4	62.1	66.2	75.9	46.1	59.2
公立病院全国平均		74.9	76.5	77.9	78.9	80.2	81.0	81.7	82.1	89.1	77.1	79.9
独立行政法人全国平均			91.7	85.9	85.9	97.1	99.5	101.1	102.3	104.8	97.3	96.2

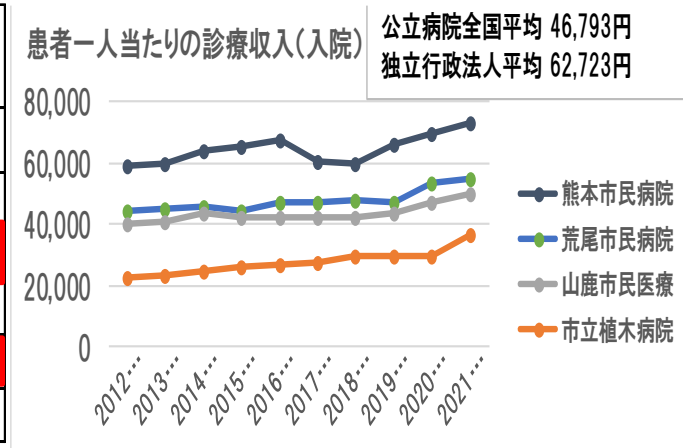


2016年の熊本地震のため、熊本市民病院は甚大な被害を受けている。2019年建替え10月開院。

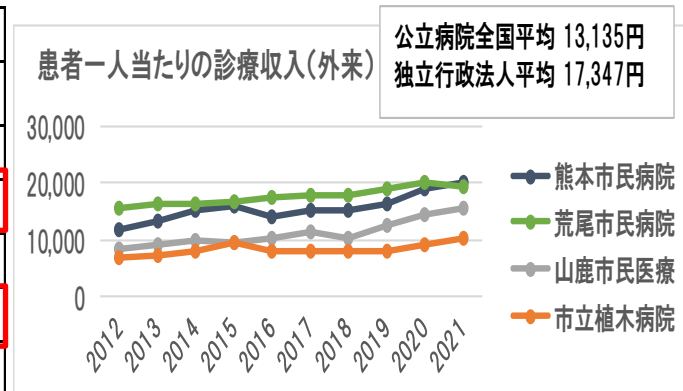
患者1人当たりの診療収入の比較表 単位:円

急性期の病院。入院の単価は高い。外来の診療収入1万円以下は、周りに民間病院が少なく、診療所の役割も果たす

入院 / 年度	病床数	2012 (平成24)	2013 (平成25)	2014 (平成26)	2015 (平成27)	2016 (平成28)	2017 (平成29)	2018 (平成30)	2019 (令和元)	2020 (令和2)	2021 (令和3)	平均
熊本市市民病院	562 ->388	59,350	59,802	64,411	65,299	67,388	60,402	60,301	66,334	69,480	73,177	64,594
荒尾市民病院	342	44,646	45,399	46,154	44,270	47,288	47,383	48,142	47,639	53,559	55,408	47,989
山鹿市民医療	199	40,310	41,327	43,520	42,291	42,496	42,484	42,496	44,125	47,151	49,801	43,601
市立植木病院	141	23,003	23,586	25,103	26,294	26,759	27,473	29,958	29,683	29,704	36,925	27,849
公立病院全国平均		42,573	43,499	43,996	44,807	45,041	45,768	47,009	47,948	50,452	56,834	46,793
独立行政法人全国平均			57,478	54,533	58,926	60,672	62,160	63,745	64,651	69,151	73,193	62,723



外来 / 年度	病床数	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	平均
熊本市市民病院	562 ->388	11,840	13,530	15,120	16,100	14,028	15,155	15,068	16,239	18,862	20,279	15,622
荒尾市民病院	342	15,785	16,191	16,360	16,852	17,400	17,721	18,049	19,104	20,216	19,397	17,708
山鹿市民医療	199	8,424	9,193	10,029	9,630	10,489	11,367	10,489	12,681	14,317	15,625	11,224
市立植木病院	141	6,984	7,126	7,947	9,704	8,152	8,019	8,080	8,175	9,272	10,496	8,396
公立病院全国平均		11,055	11,412	11,739	12,429	12,618	13,008	13,353	14,092	15,123	16,524	13,135
独立行政法人全国平均			14,360	14,017	15,828	16,708	17,097	17,793	18,716	20,312	21,293	17,347



2016年の熊本地震のため、熊本市市民病院は甚大な被害を受けている。2019年建替え10月開院。



地域住民への情報発信

市民公開講座の積極的な開催

2016年以降

- 第一回 大腸がん
- 第二回 胃がん
- 第三回 乳がん
- 第四回 がんの予防
最新治療から緩和ケア

2023年9月

山鹿市民医療センター
「第5回 市民公開講座」

山鹿でできる 肝がんの予防と治療

肝がんは進行するまで症状がでないことが多く、年間約30,000人が亡くなっています。鹿本医療圏においても、従来多かったウイルス性肝炎に加えて、糖尿病、脂肪肝肥満などの生活習慣病（メタボ）に関連した肝がんが増えています。これらの原因疾患の早期診断や治療が肝がんの減少につながります。たとえ肝がんと診断されても、山鹿市民医療センターでほとんどの患者さんの治療が完結できる体制が整ってきました。今回の市民公開講座では、肝がんの予防・早期診断・治療・緩和ケアについて理解を深めていただきたいと思います。

【日時】 令和5年 9月9日
【開場】 13時30分 **【開演】** 14時 **【閉会】** 16時(予定)
【会場】 山鹿市民交流センター 文化ホール

入場無料
事前の申込不要

ご挨拶：山鹿市長 早田 順一 鹿本医師会会長 幸村 克典

進行：山鹿市民医療センター 院長 石河 隆敏

講演	進行
I. 肝がんの予防 ① みんなが受けられる肝がん検診 山鹿市民医療センター 地域健康推進員 鹿子木 光榮 ② ウイルス性肝炎関連肝がんの予防 大阪公立大学大学院 肝臓病外科客員教授 久保 正二 ③ メタボ関連肝がんの予防 山鹿市民医療センター 消化器内科長 本原 利彦	② 免疫療法を用いた最新の肝がん薬物療法 山鹿市民医療センター 腫瘍内科長 宮本 英明 III. 肝がんの緩和ケア 肝がん患者さんの緩和ケアとこころのケア 山鹿市民医療センター 外科部長 織田 枝里 IV. 本日のまとめと質疑応答 山鹿市民医療センター 事業推進者 外科 別府 透

II. 肝がんの治療
① 当センターで完結できる肝がん治療
山鹿市民医療センター 事業推進者 外科 別府 透

講演会終了後、相談（質問）コーナーをロビーに設けます

主催：山鹿市民医療センター
〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地
電話(代表)0968-44-2185 FAX.0968-44-2420
http://yamaga-medical-center.jp/

共催：山鹿市
後援：熊本県山鹿保健所、熊本医師会、
山鹿市歯科医師会、山鹿地区薬剤師会

2024年5月

山鹿市民医療センター
「第6回 市民公開講座」

今後の人口減少・高齢化に伴う医療ニーズの質・量の変化や労働力人口の減少を見据えて、質の高い医療を効率的に提供できる体制の構築を目指します。そのためには、地域医療構想の策定に合わせて、当センターの将来の在り方・役割を十分に認識して、行政や地元医師会と連携して市民の健康福祉の向上に取り組む必要があります。今回の市民公開講座では、健康で幸せな市民が集う「健幸都市」とそれを支える「病院」づくりについて、地域の自治体病院の経済効果を含めて、市民の皆様にも広く理解を深めていただきたいと思います。

山鹿市制20周年 地域の未来に向けての「健幸都市」と「病院」づくり

【日時】 令和6年 5月25日 **【会場】** 山鹿市民交流センター 文化ホール **入場無料**
【開場】 13時30分 **【開演】** 14時 **【閉会】** 16時(予定) 事前の申込不要

ご挨拶：山鹿市長 早田 順一 鹿本医師会会長 幸村 克典 進行：看護部長 松本 和美

14:10～ ■講演Ⅰ(20分)
「まちづくりに向けた当院のあり方」
山鹿市民医療センター 院長 石河 隆敏

14:35～ ■特別講演Ⅰ(40分)
「公立病院が果たす経済波及効果と医療政策」
宮崎産業経営大学 教授 川島 秀樹 挨拶(御礼)：病院事業管理者 別府 透
(司会：山鹿市民医療センター 院長 石河 隆敏)

5:20～ ■特別講演Ⅱ(40分)
「熊本大学の改革に向けて」
熊本大学学長 小川 久雄
(司会：病院事業管理者 別府 透)

主催：山鹿市民医療センター 共催：山鹿市 後援：熊本県山鹿保健所、熊本医師会
〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地 電話(代表)0968-44-2185 FAX.0968-44-2420 http://yamaga-medical-center.jp/

2024年9月

山鹿市民医療センター
「第7回 市民公開講座」

山鹿でできる 胆道がん・膵がんの診断と治療

入場無料
事前の申込不要

【日時】 令和6年 10月5日
【開場】 13:30 **【開演】** 14:00 **【閉会】** 16:00(予定) *健康チェック/相談(質問)コーナーは16:30終了予定
【会場】 山鹿市民交流センター 文化ホール

ご挨拶：山鹿市長 早田 順一 鹿本医師会会長 幸村 克典

進行：山鹿市民医療センター 看護部長 松本 和美

講演	進行
I. がん総合診療チームの紹介 ① 健康診断とがん 山鹿市民医療センター 地域健康推進員 高木 茂 ② がん相談支援センター 山鹿市民医療センター 腫瘍内科長 福島 大志 ③ 積極的ながんリハビリ 山鹿市民医療センター 理学療法士 上野 高弘	② 外科治療 山鹿市民医療センター 外科長 増田 穂部 ③ 最新の薬物療法 山鹿市民医療センター 腫瘍内科長 宮本 英明 IV. 胆道がん・膵がんの緩和ケア 緩和ケア病棟のご紹介 山鹿市民医療センター 緩和ケア病棟長 江藤 千鶴

II. 胆道がん・膵がんを知ろう!
疫学、予防から早期発見まで
山鹿市民医療センター 院長 石河 隆敏

III. 胆道がん・膵がんの診断・治療
① 内視鏡診断と治療
山鹿市民医療センター 消化器内科長 本原 利彦

健康チェック・相談(質問)コーナー
※16:30終了予定

挨拶(まとめ)：病院事業管理者 別府 透

主催：山鹿市民医療センター 〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地 電話(代表)0968-44-2185 FAX.0968-44-2420
共催：山鹿市 後援：熊本県山鹿保健所、熊本医師会、山鹿市歯科医師会、山鹿地区薬剤師会 http://yamaga-medical-center.jp/

地域住民の生命と健康への貢献

山鹿市民医療センター



地域住民への健康啓発 市民公開講座の開催

2016年

- 第一回
- 第二回
- 第三回
- 第四回
- 最新治療



山鹿市民医療センター 地域健康室 保健師 鹿子木 光榮	III. 肝がんの緩和ケア 肝がん患者さんの緩和ケアとこころのケア 山鹿市民医療センター 外科部長 織田 枝里
② ウイルス性肝炎関連肝がんの予防 大阪公立大学大学院 肝臓病外科専攻教授 久保 正二	IV. 本日のまとめと質疑応答 山鹿市民医療センター 事業推進者 外科 別府 透
③ メタボ関連肝がんの予防 山鹿市民医療センター 消化器科部長 本原 利彦	講演会終了後、相談(質問)コーナーを ロビーに設けます
II. 肝がんの治療 ① 当センターで完遂できる肝がん治療 山鹿市民医療センター 事業推進者 外科 別府 透	

主催：山鹿市民医療センター
〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地
電話(代表) 0968-44-2185 FAX 0968-44-2420
<http://yamaga-medical-center.jp/>

共催：山鹿市
後援：熊本県山鹿保健所、熊本医師会、
山鹿市歯科医師会、山鹿地区薬剤師会

「公立病院
経済波」
宮崎産業経営大学
(司会・山鹿市民医療センター)

主催：山鹿市民医療センター
〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地



治療

会場無料
事前の申込不要

和 美

別府 透

AX.0968-44-2420
medical-center.jp/

山鹿のアピールと地域医療のレベルアップ 学会・研究会の山鹿での開催

2023年9月

2025年3月

2025年10月

マイクロ波アブレーションを究める

第42回
Microwave Surgery研究会

【会期】2023年 9月8日(金)・9日(土)

【会場】山鹿市民交流センター
〒861-0501 熊本県山鹿市山鹿987番地3
https://yamaga.site/?page_id=2466

【会長】別府 透 (山鹿市民医療センター 事業管理者)

【事務局】石河 隆敏 (山鹿市民医療センター 外科)

Yamaga City
Kumamoto

【運営事務局】株式会社Atalacia 〒573-1116 大阪府枚方市船橋本町1-775
Tel: 072-807-3890 Fax: 072-807-3898 E-mail: mws42@atalacia.com
<https://www.atalacia.com/mws42>

地域の未来に向けての病院づくり、Yes, We can!

日本医療マネジメント学会
第27回熊本支部学術集会

【会期】2025 3/15 (土)

【幹事長】別府 透 (山鹿市民医療センター 病院事業管理者)

【会場】山鹿市民交流センター

【主催】山鹿市民医療センター 経営管理課
〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地 TEL.0968-44-2185 FAX.0968-44-2420

【共催】山鹿市
【後援】熊本医師会
【大会HP】<https://jhm27kumamoto.com>

株式会社コンベンションサポート九州内
〒862-0975 熊本中央区新屋敷1-14-35 クロススクエア熊本九品寺7F-F
TEL.096-373-9188 FAX.096-373-9191 E-mail: jhm27kumamoto@higo.co.jp

第29回 熊本県国保地域医療
学会

学会長 別府 透
山鹿市民医療センター
病院事業管理者

日時 2025年10月25日

地域住民の生命と健康への貢献
山鹿市民医療センター

最新医学の学びと連携の構築

公開特別講演会の開催(2016年以降28回)

講演日時	題目	所属/講演者
2016/9/9	「がん化学療法の基本と最近の話題」	熊本大学病院 外来化学療法センター長 陶山 浩一 先生
2016/10/14	「消化器癌に対する 診断・治療の現状と展望」	熊本大学大学院 生命科学研究部 消化器外科分野 教授 馬場 秀夫 先生
2017/2/10	「泌尿器専門医以外にも役立つ改訂 前立腺がん診療ガイドラインのポイント」	熊本大学大学院 生命科学研究部 泌尿器科学分野 教授 神波 大己 先生
2017/9/8	「肝炎・肝硬変のマネジメント ～肝発癌抑制を目指して～」	熊本大学大学院 生命科学研究部 消化器内科分野 教授 佐々木 裕 先生
2017/10/13	「循環器先進医療と これからの病病・病診連携」	熊本大学大学院 生命科学研究部 循環器内科学分野 教授 辻田 賢一 先生
2017/11/10	「画像診断の最前線 ～CT、MRIを中心に～」	熊本大学大学院 生命科学研究部 放射線診断学分野 教授 山下 康行 先生
2018/7/13	「糖尿病予防の最前線」 ～合併症の発症・進展阻止のために～」	熊本大学大学院 生命科学研究部 代謝内科分野 教授 荒木 栄一 先生
2018/9/14	「消化器癌に対する最新の治療」	熊本大学大学院 生命科学研究部 消化器外科分野 教授 馬場 秀夫 先生
2019/1/11	「肝硬変の包括的マネジメント」	熊本大学大学院 生命科学研究部 消化器内科分野 教授 佐々木 裕 先生
2019/7/12	「緑内障診療の現状と新しい試み」	熊本大学大学院 生命科学研究部 眼科学分野 教授 井上 俊洋 先生
2019/9/13	「長らく咳・喘息・COPD」	熊本大学大学院 生命科学研究部 呼吸器内科学分野 教授 坂上 拓郎 先生
2019/11/18	「骨粗鬆症の病態と治療」	熊本大学大学院 生命科学研究部 整形外科分野 教授 宮本 健史 先生
2020/10/9	「ステロイドを含む免疫抑制剤によるB型肝炎 再発活性化の現状と対策」	熊本大学大学院 生命科学研究部 消化器内科分野 教授 田中 靖人 先生
2020/11/13	「画像診断の最前線」	熊本大学大学院 生命科学研究部 放射線診断学講座 教授 平井 俊範 先生

2020/11/13	「画像診断の最前線」	熊本大学大学院 生命科学研究部 放射線診断学講座 教授 平井 俊範 先生
2022/8/12	「循環器病対策の未来像 ～熊本県推進計画を踏まえて～」	熊本大学大学院 生命科学研究部 循環器内科学分野 教授 辻田 賢一 先生
2022/10/14	「麻酔科医療の現在地」	熊本大学大学院 生命科学研究部 麻酔科学分野 教授 平田 直之 先生
2022/11/11	「運動器疾患の病態の理解と対策 ～脊椎疾患・骨粗鬆症を中心に～」	熊本大学大学院 生命科学研究部 整形外科分野 教授 宮本 健史 先生
2022/12/16	「進化を続ける泌尿器癌薬物療法」	熊本大学大学院 生命科学研究部 泌尿器科学分野 教授 神波 大己 先生
2023/1/13	「頭痛の画像診断」	熊本大学大学院 生命科学研究部 放射線診断学分野 教授 平井 俊範 先生
2023/2/10	「もしも喘息と言われたら -令和の喘息診療-」	熊本大学大学院 生命科学研究部 呼吸器内科学分野 教授 坂上 拓郎 先生
2023/5/26	「地域で働く医師を育てる」	熊本大学病院 総合診療科 教授 松井 邦彦 先生
2023/10/13	「急激に変化する緩和医療と 緩和ケアセンターの役割」	熊本大学病院 緩和ケア内科 教授 吉武 淳 先生
2024/1/12	「泌尿器科 未知との遭遇」	熊本大学大学院 生命科学研究部 泌尿器科学分野 教授 神波 大己 先生
2024/2/9	「山鹿市民医療センター が世界の医療をリード する！～食道外科医からのメッセージ～」	熊本大学大学院 生命科学研究部 消化器外科学 特任教授 吉田 直矢 先生
2024/4/12	「2型糖尿病の病態と薬物治療」	熊本大学大学院 生命科学研究部 代謝内科学分野 教授 窪田 直人 先生
2024/10/18	「腫瘍外科の往古来今」	熊本大学大学院 生命科学研究部 消化器外科学分野 教授 岩槻 政晃 先生
2024/11/8	「産婦人科医療の現状と課題」	熊本大学大学院 生命科学研究部 産婦人科学分野 教授 近藤 英治 先生

地域住民の生命と健康への貢献

山鹿市民医療センター



最新医学の学びと連携の構築



2020/10/7	再発活性化の現状と対策	消化器内科学分野 教授 田中 靖人 先生	2024/11/8	産婦人科医療の現状と課題	熊本大学大学院 生命科学研究部
2020/11/13	「画像診断の最前線」	熊本大学大学院 生命科学研究部 放射線診断学講座 教授 平井 俊範 先生			産婦人科学分野 教授 近藤 英治 先生



病院のActivityの発信

開放型病院広報誌「つばさ」の発行

山鹿市民医療センター開放型病院広報紙 11月号

Yamaga Medical Center



発行所 山鹿市民医療センター 〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地 TEL 0968-44-2185(代) FAX 0968-44-2420

心疾患の患者さんに対するリハビリを開始しました

厚生労働省の「令和2年患者調査」によると、心疾患別に占める各患者割合は、狭心症：28.0%、不整脈及び電導障害：31.5%、心不全：18.0%、その他：20.0%となっております。

心疾患に占める各患者割合



出典厚生労働省「令和2年患者調査」より作成

心大血管疾患リハビリテーションの効果は、これまでの研究によって多岐にわたり証明されています。具体的には、虚血性心疾患(心筋梗塞や狭心症)の患者さんがリハビリを行うことにより、行わなかった場合に比べて心血管病による死亡率が

- ・血管が広がりがよくなり、身体の血液循環がよくなる
- ・動脈硬化が進みにくくなり、既にできている動脈硬化性プラーク(血管の壁の盛り上がり)が小さくなる
- ・血管が広がって高血圧が改善する
- ・自律神経が安定して不整脈の予防になる



山鹿市民医療センター開放型病院広報紙 1月号

Yamaga Medical Center



発行所 山鹿市民医療センター 〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地 TEL 0968-44-2185(代) FAX 0968-44-2420

新年のご挨拶



病院事業管理者
別府 透

明けましておめでとうございます。近隣の先生方や医療関係の皆さまには変わらぬご支援をいただき、心から感謝を申し上げます。

新規診療科が誕生予定です。看護師の採用試験を2回行い、10名強の増員を見込んでいます。

昨年5月25日に山鹿市民医療センター市制20周年を記念して、第6回 市民公開講座、地域の未来に向けての「健康都市」と「病院」づくりを開催しました。当センターの開設者である早田市長と熊本医師会会長の幸村先生のご挨拶の後に、石河隆敬院長から「まちづくりに向けた当院のあり方」を、宮崎産業経営大学の川島秀樹教授から「公立病院が果たす経済波及効果

山鹿市民医療センター開放型病院広報紙 12月号

Yamaga Medical Center



発行所 山鹿市民医療センター 〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地 TEL 0968-44-2185(代) FAX 0968-44-2420

感染対策向上加算1施設相互チェック評価を受けて

《感染制御室》

今年度は熊本地域医療センターより当センターの感染対策実施状況について評価していただきました。感染対策向上加算1の届出を行っている医療機関は、自施設の感染対策と管理に加えて、地域の医療機関との連携を推進・強化することの役割が大きくなってきています。そのような中で、感染対策の専門的知識を持った病院で勤務されている方々によって調査を実施していただくことにより、細かな視点で調査を受けることができ

耐性菌や院内感染の発生などを情報発信する業務を行なっています。今回の受審で感染対策の設備の再確認や感染源になりうる環境改善についての新たな知識を得ることが出来ました。

感染対策は院内だけでなく地域との連携が重要です。近隣および関係の深い医療機関と定期的に情報交換やカンファレンス、訓練などを行い、地域の感染対策向上・推進の必要性を感じました。

(文責：坂梨 由佳)

第197号を発行

山鹿市民医療センター開放型病院広報紙 2月号

Yamaga Medical Center



発行所 山鹿市民医療センター 〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地 TEL 0968-44-2185(代) FAX 0968-44-2420

熊本県国保地域医療学会

令和6年10月26日に出る第28回熊本県国保地域医療学会が開催され、2名が研究発表を行いました。第29回熊本県国保地域医療学会は当センター主催で本年10月25日に出る開催予定です。

《手術室》

研究テーマは「手術室における滅菌物管理技術の向上～スタッフ教育の効果～」です。

手術室で使用される滅菌器材の有効期限延長を目指して数年前から行ってきた取り組みの中から、今回はスタッフ教育に焦点を当てて発表しました。

滅菌物の有効期限については、今回までの取り組みを

《放射線科》

「当院の造影ルート確保の取り組み」というタイトルで発表を行いました。

当センターでは、医師、看護師の業務負担を軽減し、人手不足の解消と医療の質の向上を目的として他職種へのタスク・シフト/シェアに取り組んでいます。今回の発表では、診療放射線技師が造影ルート確保を行うこと

200件超/毎月 近隣の医療施設や熊本大学病院 診療科に送付

地域住民の生命と健康への貢献
山鹿市民医療センター

地域医療機関としてのがん診療のレベル向上

大腸癌肝転移治療の理論と実践

熊本大学消化器外科、山鹿市民医療センターの経験から

監修：別府 透・馬場 秀夫

編集：石河 隆敏・宮本 裕士・増田 稔郎・今井 克憲・林 洋光
新田 英利・岡部 弘尚・美馬 浩介・中川 茂樹・宮田 辰徳

“The Work Over Decades”

肝臓外科医が半生をかけて築き上げた転移性肝癌の治療戦略と実例！仲間達とのスクラムであきらめない、全力治療に全霊で挑み続ける。

定価（本体4,000円＋税）

海鳥社

当院のがん診療が評価され、当院での治療法を解説した専門書を昨年発刊
（山鹿灯籠を表紙に採用）

巻頭言	7	九章	肝切除可能例の周術期化学療法	57
大腸癌肝転移の治療法の変遷に思う 熊本大学消化器外科教授 馬場 秀夫		十章	腹腔鏡下肝切除	62
持つべきものは仲間！ 一多施設共同研究でClinical Questionを解き明かす 山鹿市民医療センター 病院事業管理者 別府 透	8		増田稔郎、別府 透	
一章	12		こだわりのポイント2 傾向スコアマッチング（PSM）解析を考える	66
わが国の治療戦略と成績の推移 一合同データベース委員会 全国集計から 松本嵩史、別府 透			この適応と成績	69
二章			肝切除	81
Beppu scoreに基づいた			ポイント3 活用する	85
別府 透			手術の至適タイミング	88
三章			症例の治療	94
転移性肝がん国際ガイドライン 新田英利、別府 透			患	
四章			症例に学ぶ	98
病理学的な悪性度評価 中川茂樹、林 洋光			足立優樹、石河隆敏、別府 透	
五章				
原発巣存在部位や遺伝子 山村謙介、今井克憲、別府 透				
六章				
腫瘍マーカーを使いこなす 岡部弘尚				
七章				
機能的肝切除率に基づいた 林 洋光				
八章	50			
診断時切除不能例のConversion肝切除 宮田辰徳、別府 透				
こだわりのポイント1 Conversion surgeryの妥当性 別府 透	54			



年代を超えた3人の肝胆膵・腫瘍外科のリーダーが絶賛!!
大腸癌肝転移治療におけるBeppuスコア、コンバージョン治療から肝移植まで
 治療成績は本邦でも特筆に値しますし、世界屈指と言っても間違い
 （京都大学 肝胆膵・移植外科 波多野 悦朗氏）
 一本筋が通っており、別府先生の執念にも似た情熱が溢れている
 （横浜市立大学 消化器・腫瘍外科学 遠藤 格氏）
 現段階での大腸がん肝転移治療のすべてを網羅したバイブル的のもの
 （社会医療法人中山会宇都宮記念病院 山本 雅一氏）



本日の話題

- 当センターの強みを生かす
- 病院を含む地域全体の活性化
- 将来への課題



山鹿市民医療センターを取り巻く情勢



くまもと県北病院 2021年開院



有明医療センター 2023年開業

厚労省 医療経済実態調査結果を公表

病院経営の厳しさ 鮮明に

厚労省は11月24日、第24回医療経済実態調査の結果を公表した。一般病院（全体）の前年（度）の2期間間の有効回診数は病院11施設平均で47.9%（前年47.9%）と減少し、診療報酬改定の基礎となる診療報酬単価は24.2%（前年24.2%）と減少した。また、一般診療所の2022年度（前年）の利益率は53.5%（前年53.9%）と減少し、一般診療所の2022年度（前年）の利益率は10.3%（前年10.0%）と減少した。

利益率の悪化

医療経済実態調査は、了した事業年（度）、病院、一般診療所、歯科、診療所、保険薬局の医療の有効回診数は病院11施設平均で47.9%（前年47.9%）と減少し、診療報酬改定の基礎となる診療報酬単価は24.2%（前年24.2%）と減少した。また、一般診療所の2022年度（前年）の利益率は53.5%（前年53.9%）と減少し、一般診療所の2022年度（前年）の利益率は10.3%（前年10.0%）と減少した。

日本病院会ニュース

依然として「増収減益」傾向が続く

入院基本料の「もっと経営は厳しく」

日本病院会（会長 白根孝夫）は、全日本病院協会（会長 長谷川昌）と共同で、2023年度病院経営定期調査の結果を発表した。調査からは、22年度は、コロナ関連の影響を受け、増収減益傾向が依然として続いていることが明らかとなった。また、経営は厳しく、入院基本料の引き上げが求められている。

定期調査の結果から、入院割合が2年続けて60%を維持し、22年度は22年度比で2.8%増加した。コロナ関連の影響を受け、増収減益傾向が依然として続いていることが明らかとなった。また、経営は厳しく、入院基本料の引き上げが求められている。

診療報酬改定の回りハへの影響を懸念

病院運営の継続に危機

日本慢性期医療協会は、2024年度診療報酬改定について、回復期リハビリテーション病棟は入院基本料以外のマイナスが大きくなり、リハビリの低額化が懸念されている。また、医師の労働時間短縮等の取組みが、医師の労働時間短縮等の取組みに悪影響を及ぼしている。

厚労省では、副業・兼業先も含めた年通算時間外・休日労働時間が1860時間を超える見込みとなる医師数が、医師の労働時間短縮等の取組みに悪影響を及ぼしている。

必要なのは、「影響あり」1327施設、「影響なし」777施設、「不明」248施設。また、宿日直許可の取得や医師の労働時間短縮の取組みに悪影響を及ぼしている。

精神科領域に関する地域医療機関との連携

県北唯一の緩和ケア病棟

- 緩和ケア病棟、終末期患者での抑うつ、せん妄等
 - 抑うつ: がん患者経過中の6~42%に認められる
 - 終末期せん妄は、がん患者の30~80%
- 昨年から複数の事例が発生
- 入院患者への対応が難しい現状



山鹿回生病院 院長 植村先生への直接相談の結果

「定期的な病棟訪問診察が実現」 2025年2月～



往診
第1, 3火曜日午後



精神科医による緩和ケア病棟でのカンファレンスと訪室



一般入院患者の病棟コンサルテーション
(回診担当: 特定行為研修・認定看護師)



「健幸」を支える明るい病院づくり

2025年2月 全館の照明器具のLED化

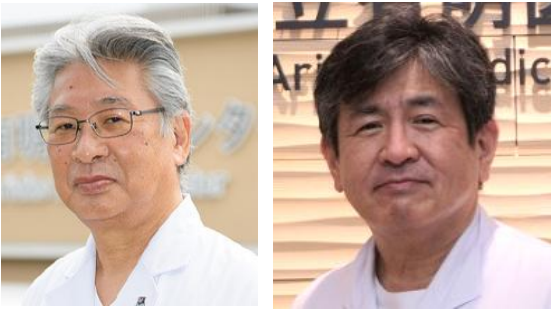


設置費用全額補助、消費電力の削減(CO₂の排出量削減)、廃棄物削減

県北医療圏での地域医療連携推進法人の立ち上げ

2025年3月に第一回目のお会合

荒尾市立 有明医療センター



くまもと県北病院



和水町立病院



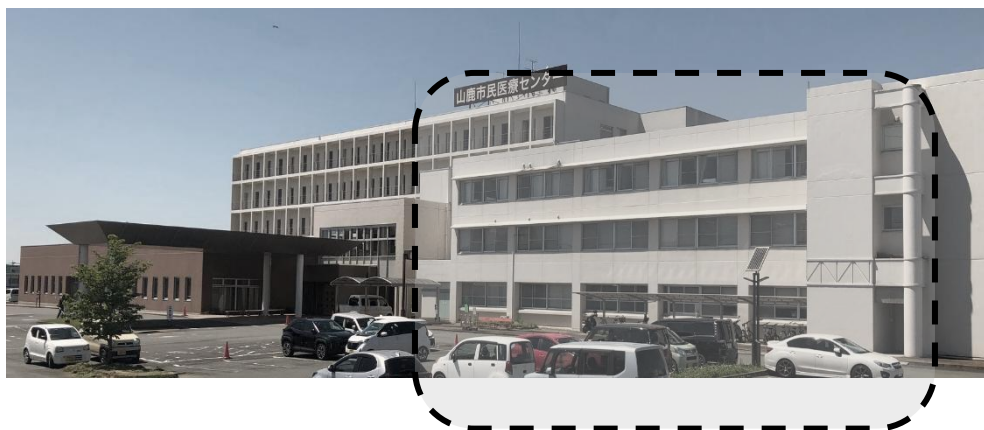
山鹿市民医療センター



- 職員の人材交流・合同研修
- 医療器具・医薬品の共同購入によるコスト削減
- 病床の共有や再編による効率化
- 診療情報の共有と連携強化

「健幸」支える病院づくり

- 疾病の予防、健康作りに ⇒ 「健診センター」
- 地域にむけた医療充実に ⇒ 「がん診療：化学療法部門」
- 平穏に過ごせる時間と場所 ⇒ 「緩和ケア病棟」



1階：薬剤管理室
外来化学療法室
2階：医局、当直室、
会議室
3階：緩和ケア病棟

全てが一番古い建物に集中



旧外来棟の老朽化



1985年建設、長年頑張ってくれた建物ですが……

ひび割れ、湿気、イメージが暗い、不衛生になりやすい等のご指摘あり



旧外来棟の老朽化



健診部門

薬剤管理部門

外来化学療法部門

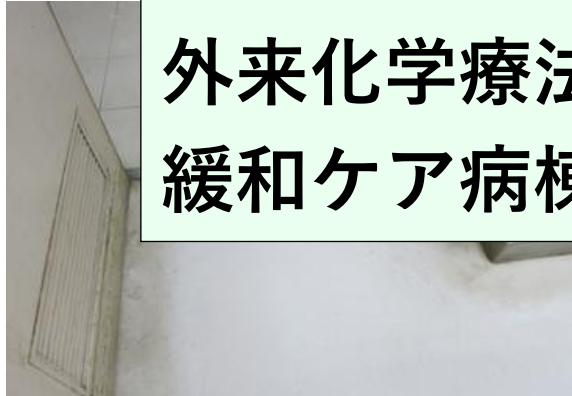
緩和ケア病棟

スペース不足

サービス低下

安全管理の問題

ベッド数不足

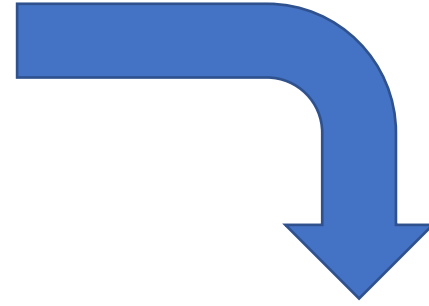
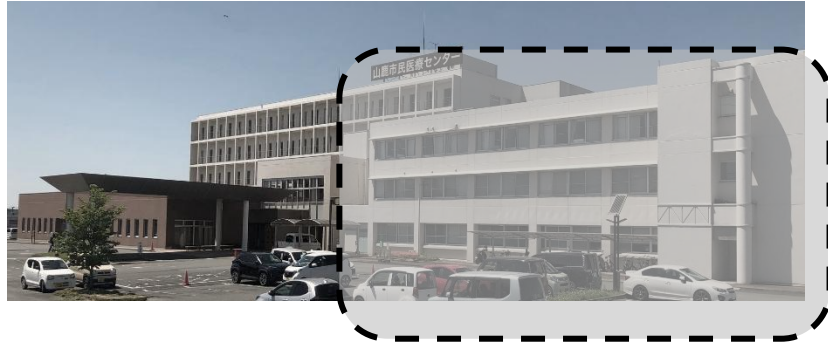


1985年建設、長年頑張ってくれた建物ですが……

ひび割れ、湿気、イメージが暗い、不衛生になりやすい等のご指摘あり

「健幸な山鹿市」を支える病院づくり

旧棟を刷新、機能強化



将来ビジョン



緩和ケア病棟
薬剤管理部門
健診センター
外来化学療法部門

生成AIによる新棟完成図

未来を見据えた地域学生・研修医教育

◆ 卒後臨床研修: 地域医療 (1~2ヶ月)

年度	基幹病院	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H30年度	熊大病院	1	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	4名
R1年度	熊大病院	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2名
R2年度	熊大病院	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1名
R3年度	熊本医療C	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2名
R4年度	熊本医療C	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2名
R5年度	熊本医療C	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2名

◆ 特別臨床実習: 地域医療 (3週間)

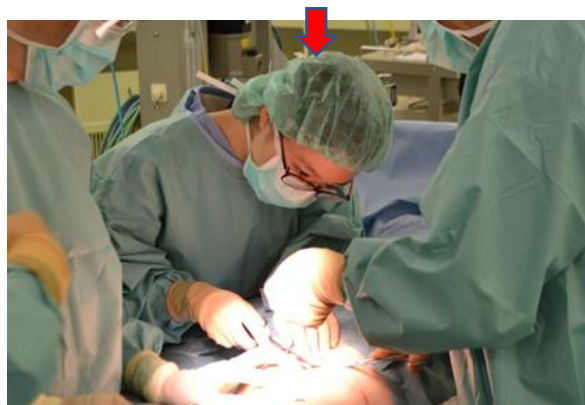
H29年-H30年

	3~7ターム	1~5ターム
旧カリキュラム	4月10日 - 9月15日	1月9日 - 6月15日
山鹿市民医療センター	5名	5名

H30-

年度	ターム数	期間	受入人数
H30-H31	1-13ターム	7月9日~6月28日	8名
R1-R2	1-13ターム	7月1日~6月26日	11名
R2-R3	1-13ターム	6月29日~6月25日	7名
R3-R4	1-13ターム	8月16日~6月3日	8名
R4-R5	1-13ターム	6月27日~6月23日	10名
R5-R6	1-13ターム	6月26日~6月21日	9名※予定

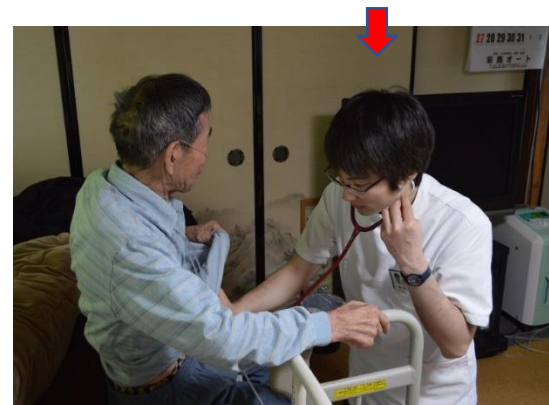
◆ 卒後臨床研修(Bプログラム) 1名 (H29.9~H30.7)



手術



抄読会



訪問診療

地域住民の生命と健康への貢献

山鹿市民医療センター



恩師に感謝

猪股 裕紀洋先生



肝臓外科の師であり、
「患者ファースト」を
教えていただいた

馬場秀夫先生



腫瘍外科の師であり、
「理想を高くもつこと」を
教えていただいた



恩師に感謝

小川 道雄先生



人生の師であり、
「真摯に生きること」を
教えていただいた



早朝講義のひとつま

- 運の良い医師は努力している
- 常に自省する医師であれ
- 貴方にはResearch mindがある

令和五年五月十三日 ご逝去

山鹿市民医療センターの仲間に感謝！



山鹿灯籠まつり・山鹿温泉・八千代座・百華百彩



山鹿灯籠まつり・山鹿温泉・八千代座・百華百彩



ご清聴ありがとうございました！

